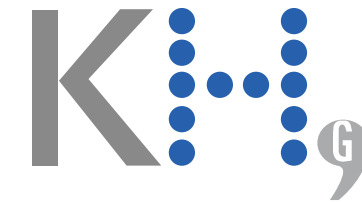


特集1 川島病院完成記念
~良質な医療を追求する~

特集2 第66回 日本透析学会学術集会・総会

2021年度事業計画



Kind 優しい

Honest 誠実な

Growing 伸びゆく

社会医療法人 川島会

●川島病院

- 川島透析クリニック ●鴨島川島クリニック ●鳴門川島クリニック
- 脇町川島クリニック ●阿南川島クリニック ●藍住川島クリニック

社会福祉法人 飛鳥

- ケアハウス ●在宅介護支援センター ●デイサービスセンター ●ヘルパーステーション

川島ホスピタルグループ広報誌 第19号 2022年1月発行 発行/川島ホスピタルグループ

〒770-8548 徳島市北佐古一番町6番1号 TEL.088-631-0110 FAX.088-631-5500

企画・編集/川島ホスピタルグループ・広報委員会 川島ホスピタルグループホームページ <https://khg.or.jp/>

デザイン・印刷・製本/太陽高速印刷(有)



Contents

Kawashima Hospital Group Magazine

2	巻頭言	川島ホスピタルグループ 会長 川島 周
4		特集1 川島病院完成記念	~良質な医療を追求する~
28	2021年度事業計画	
29		特集2 第66回 日本透析学会学術集会・総会	チームの俯瞰・発想・行動力~良質な医療とケアの発信~
39	ドクター紹介	三好 人正先生 吉岡 伸治先生
41	2020-2021年 資料編	



Kind 優しい

Honest 誠実な

Growing 伸びゆく

私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎泌尿器疾患、循環器疾患、糖尿病、血液内科、消化器内科、整形外科の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境 医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を 果たします。



川島ホスピタルグループ
会長 川島周

新病院への想い

今

回の病院建築に関して私は個人的にも色々な思いがあります。

どこかで言いたいと思つていましたが、適当な機会もなくそのままになつていました。しかし広報委員会から依頼を受けましたので、ちょっとした機会と思ひ、経緯など述べることにします。

まず水口理事長を始め、私と長年苦勞を一緒にしてきてくれました皆様、本当に心の底から厚くお礼を申し上げます。この度の新病院竣工は私自身にとりましても本当に良かったと思つております。殆どの病院経

営者は自分の病院の理想像を描きながらも、それを実現させることができず、辛い立場を受け入れながら辛抱していると思ひます。その点、私は幸運にもほぼ理想的な病院を作ることができました。長年の夢も叶い本

当にほつとした気分と達成感を味わつているところであります。さて私が考えている病院運営の基本的な骨格は三点あります。

第一点は何よりも良質な医療を提供することです。患者側から見ても、われわれ医療提供者側からみても、ある程度は納得できる良質な医療を提供することが何より肝心です。これ

に関しては「タンパク尿から腎移植まで」を名実ともに実行し、またそれなりの実績を残してきたことにより世間からも評価されていると思ひます。

二点目は良質な医療を提供しながら、財政的な面も含めて安定した病院経営をすることです。このことに関しては、2013年に川島会を社会医療法人化させましたが、これが結果的にも正しい選択となり堅調な運営が維持されております。

三点目は川島会で働く皆様それぞれにそれなりの実りのある人生を過ごせることあります。これも難題ですが、給与

体系面だけでなく、福利厚生

の充実や、ハラスメント対策など内輪もめなどがなく、風通しの良い組織であることが常に求められています。

そしてこれら三点の骨格を達成するためには強固で機能的な病院の建設は欠かせない重要項目でした。しかも南海地震を想定すると、免震構造が必須でした。土地確保の問題から透析室と病院本体との2回に分けた工事となり、余計な手間暇がかかったことは残念なことでありましたが、ついに完

成させることができました。

今後の最重要課題は何と云つても地震対策です。たとえ南海地震が明日起こったとしても明後日からも透析を行うという覚悟と決意が必要です。地球が生きている以上必ず地震は起こります。いつ起こるかは予想を立てることはできませんが、川島病院の免震構造は地震発生時に必ず威力を発揮するはずで、もちろんその際建物というハード面だけでなく、我々の持つソフト面での重要性も必要であることは言うまでも

ありません。

また新病院は面積的にも、能力的にも非常に大きな「ゆとり」を持っています。ただ単にスペース的なゆとりだけでなく、院内に掲示されている絵画や駐車場の彫刻、また木立などは気持ちの面でも心に「ゆとり」をもたらしてくれると思ひます。

このような長所を活かせながら皆様と一緒に良質な医療を提供することができるとを願つております。



地域医療に貢献します

「川島病院 腎センター」

蛋白尿から腎移植まで



社会医療法人 川島会
理事長

水口 潤

川

島病院は1976年に透析室を開設して以来、腎不全医療を中心として発展、「蛋白尿から腎移植まで」をモットーとし診療を続けてまいりました。1985年には透析患者さんの増加や腹膜透析、腎移植に対応するため佐古3番町より北佐古1番町へ移転し(旧病院1号館)、翌1986年には徳島県で初めての腎移植をおこないました。その後、腎不全併症や糖尿病性腎症による腎不全の増加に対応するため、新たな診療科の開設と充実に努め1991年には整形外科、1995年には糖尿病内科、1998年には病院に隣接する循環器クリニックを開設(旧病院3号館)、続いて2005年には外来診療の充

実のため外来管理部門が増築(旧病院2号館)されました。このように病院の急速な発展に伴い増改築を繰り返したため、新しい職員は迷子になってしまような状況でした。このような状況のなか、外来や透析患者数の増加、新しい診療科の増設など事業の拡大に対応する必要も加わり、透析クリニックに隣接した新病院を建設することとなりました。

新病院の設計当初の構想としては、患者数の増加や診療科目の充実に対応するため、規模を大きくするとともに最新の設備を整えること。また南海トラフによる大震災が予想されるなか、免震構造とし診療部門を2階以上に置くことにより、震災や水害の場合にも診

療を継続できるように、それらの影響を受けにくい構造とすることでありました。新病院の建設は2020年1月より開始されましたが、建設中のコロナ感染の拡大に伴い、医療施設における感染対策の重要性をひしひしと感じ、感染症外来や感染症対応病室などの設置、感染対策を考慮した導線の見直しなどの追加工事や設計の変更をおこなうこととなりました。今回の建設に当たりましては、建設当初のコロナ感染の拡大により、資材不足や工事現場での感染拡大などの可能性から、工事中断との危機にも見舞われました。そのような状況にもかかわらず新病院が完成いたしましたこと、建設関係者や近隣の皆様方を始め関係各位の多大な、尽力ならびにご協

光と風を感じる心地よさ



力に対しまして、深く感謝を申し上げます。

医療法人川島会は医療供給体制の永続性や公共性を保つため、2013年には社会医療法人化をおこないました。現在、社会医療法人川島会は川島病院を中心に、6つのサテライト透析クリニックで診療を行い、腎臓内科、循環器科、糖尿病内科、泌尿器科、また最近では消化器内科、整形外科、血液内科などを充実させ、専門医と最新の診療機器により、各専門領域の診療に力を注いでいます。特に腎疾患領域では徳島県内において診断・治療さ

らには透析患者、腎移植患者診療の分野で約半数の症例数を占めています。また徳島透析医会の透析災害基幹病院に指定され、災害時には対策本部が設置されることになっています。このような活動が評価され、新病院では徳島県より「川島病院腎センター」の名称使用が認められました。民間病院においてこのような名称使用が認められることは、全国的に見てもまれなことであり大変光栄に思っているところであります。

川島病院は最新の設備を整えるとともに震災や水害、感染

対策に配慮した構造となっております。普段の良質な医療はもちろん、災害時や感染症の流行時にも変わらぬ医療を提供することに地域医療に貢献したいと思っております。新病院の円滑な運営に向け、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2020年1月16日(木)
起工式





日本医師会名誉会長 横倉義武様



徳島大学医学部 赤池雅史様
医学科学教育部長



徳島県医師会会長 齋藤義郎様



水口理事長

祝 社会医療法人川島会 川島病院 完成記念式典

令和3年7月25日、非常に暑くしかし、明るい未来を祝うような快晴の中、新病院開院式典が執り行われました。新型コロナウイルス感染拡大が広がっている最中でありましたが、県内外より72名ものお客さまに足を運んでいただきました。式典に先立ち、紅白幕が眩しく映える一階ロビーにてテープカットが行われました。

式典では、水口理事長の式辞に続いて、ご来賓の先生方より祝辞を賜りました。



写真左から、西内健院長、米本等様(町内会会長)、長岡奨様(阿波銀行頭取)、松本俊様(徳島県歯科医師会会長)、齋藤義郎様(徳島県医師会会長)、横倉義武様(日本医師会名誉会長)、赤池雅史様(徳島大学医学部 医学科学教育部長)、金山博臣様(徳島大学大学院医歯薬学 泌尿器科学分野教授)、山元文明様(四国銀行頭取)、川島周会長、水口潤理事長



西内院長

式典は最後に西内院長より本日開院に際し御礼と近隣及び患者様に謝辞を持って締めくくりました。

目録贈呈



四国銀行頭取 山元文明様



阿波銀行頭取 長岡奨様



四国銀行、阿波銀行より目録の贈呈
四国銀行よりデジタルサイネージ贈呈(受付入口に設置)
阿波銀行よりエアドッグ贈呈(受付に設置)

感謝状贈呈



㈱久米設計 小西威史様



大成建設㈱ 金井隆夫様



川島会長より感謝状の贈呈
㈱久米設計 取締役専務執行役員業務本部部長 小西威史様
大成建設㈱ 副社長執行役員 金井隆夫様にそれぞれ贈呈しました。



患者受診・患者移転リハーサル

2021.7.4(日) 2021.7.18(日)

何をどのように準備すればいいかも分からず、リハーサル前日まで四苦八苦しながら準備を進めておりましたが果たして、準備が万全なのか万全でないのか…。予想に反して、準備は万全ではありませんでした。(笑)



患者受診リハーサル

開院後に使用する電子カルテや付随するシステムも本稼働しておらず必要最低限の使用。また、内線・PHSも無いということもあり、そういったことも考慮し用意したシナリオでしたが色々不備があり混乱を招いておりました。(その節は誠に申し訳ございませんでした。)

当日は初めて新病院内を歩いたという人も多かったですし、患者役も職員役も新病院に興味津々だったので、失敗がカモフラージュされたと勝手に思っております。(笑)

旧川島病院は良く迷路だという声を聴きましたが、新病院も最初は迷路でした。(笑)



患者移転リハーサル

リハーサルに入る前準備として、役割の決定と配置人数の決定、搬送順路の確認、タイムスケジュール、搬送による注意点、連絡方法、緊急時の対応マニュアルなど、さらに、職員への通知、患者役の依頼、使用物品や資料の準備などなど、地獄のような日々でした。(私の記憶には良い部分も残っておりません。)



リハーサル当日、役割の説明に使用する資料の印刷が配布できておらず、一時大混乱(汗)

提携業者(グリーンホスピタルサプライ、日本通運)のヘルプもあり無事(?)に収拾できました。

いざリハーサル本番!患者移送はほとんどの方が初めての経験。実際に患者役を動かしてみて分かることがありました。ベッドから寝台車への乗換の大変さ、乗換場所の再検討、真夏の移転とあって、自動扉が開いたら熱風が入って汗かく。(当日は曇りがいいなあと呟く声も…)車椅子・独歩の移送は思ったよりも人手がかからず。患者移送でどの部分に手厚く人を配置し、どの場所で乗換するのか、本番に向けて貴重な経験となりました。

2回目のリハーサル、どちらも準備万端…でもありませんでしたが、2名を味方に引き入れ何とか乗り切りました(お手伝いありがとうございました。)



内覧会

式典閉式の後、内覧会では午前70名、午後90名の方が参加されました。



川島病院の各部署数名ずつが新病院の診察室、検査室、手術室などを中心にご説明させて頂きました。各部屋、診察室、検査室の使用目的、設置された医療機器、新たに導入した機器について、見て頂いたり、触って頂いたりしながら詳細に説明致しました。外来部門はひよつとしたら今後受診すると入る部屋となるかもしれませんが、手術室に入る事はめったにできることではなく、最も皆さんが興味をもたれていた印象があります。なかでもダヴィンチのような最新の医療機器に触れることは内覧会ならではの光景ではなかったでしょうか。

式典、内覧会にご出席いただき誠にありがとうございました。

広報委員長/川島友一郎



新病院の紹介



命を守る

災害時にも変わらぬ医療を

透析災害基幹病院として

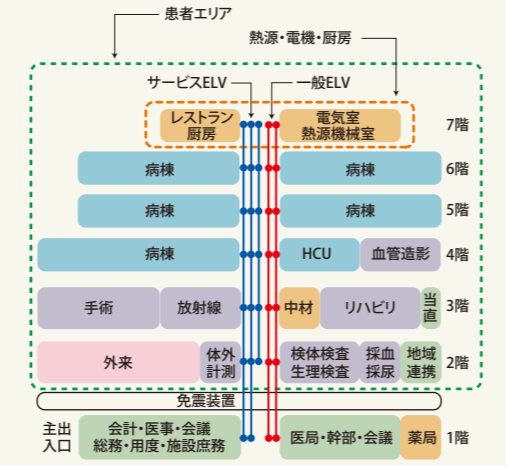
徳島県の透析災害基幹病院であり、災害時には対策本部が設置されることから、免震構造とし診療部門は2階以上に置くことにより、震災や水害による影響を受けにくい構造としています。

浸水対策の階層構成

患者エリアを2階以上に配置
熱源・電気・厨房を7階に配置
巨大地震発生時に津波による浸水の可能性があるため、免震部材が水没する可能性を小さくするため、1階柱頭免震を採用しました。

中間免震を採用

免震装置への津波浸水を回避
津波浸水後も医療機能を継続
免震支承は支持する重量と剛性バランスを考慮しながら長周期化を図っている。
減衰効果が高く、免震層の変形が小さいときから地震エネルギーを吸収できる、オイルダンパーを偏りなく配置しました。



患者移転本番

2021.8.1(日)



当日は予想通りの晴天！
中止・順延が出来ない患者移送、台風・大雨の中でするよりもまだ良かったです。

7:30~8:30

明朝までの病状報告を夜勤者より病棟師長が申し送りを受け、搬送方法・搬送順を病棟ごとに仮決定。その情報を元に、移送本部・副本部のメンバーにより、患者移送タイムスケジュールの確定が行われました。

8:30~8:45

各役割のリーダーが集合し当日の患者情報を共有、確定した患者移送スケジュールをエクセルに入力し印刷して各役割に必要な数を印刷して配布。
(短時間での準備。まあまあ大変でした。)

8:45~9:00

各役割のリーダーからの報告を受けそれぞれの配置場所へ移動。
当日までに2回のリハーサルをこなした精鋭たちが万全の体制でいざ患者移送開始！



移送当日、初めは3号館1階でベッド移送の様子を見守っておりました。実際の患者さんとなるとやはり緊張感があります。旧病院から新病院の病室までの間に、院内移送係→乗換係→搬送→乗換係→院内移送係とそれぞれの配置場所に手厚く職員を配置しました。(係が変わる度に患者情報の申し送りがあります。)

移送場所には多くの医師、看護師、コメディカルがおり万が一に備えます。移動車の中にも看護師1名を常駐させ移動中の状態を観察。新病院でも同様の配置で万が一に備えます。

スムーズな移送にてベッド移送患者の移送終了を見届け、患者受入れ側の新病院へ移動。

新病院の救急入り口側ではベッド移送患者の受け入れの真最中。旧病院と同様、万全の態勢で受け入れをしておりました。



診療情報課 主任
竹森 洋介

私の仕事は9:00を迎えた時点で終了(?)しておりましたので、後は無事に終了するよう祈りながら見守っておりました。

無事に患者移送が終わりホッと一息。当日の夜のビールは最高に旨かったです。





「蛋白尿から腎移植まで」をモットーに、トータルで切れ目ない医療を提供します。

NEW
1F
Kawashima Hospital

- 10 総合受付
- 11 入院受付
- 12 初診受付
- 13 15 会計受付
- 16 再来受付機
- 17 院内調剤室
- 18 発熱外来診察室

スムーズな アプローチで 医療がかわる

エントランスホール

エントランスホールでは、コロナ感染対策のため、入館者へのコロナ問診の実施・検温・手指消毒の呼びかけなどをおこなっています。また、再来受付機や新病院へ移転後に導入となった、自動精算機を設置しています。再来予約の患者さんは、診察券を受付機に通し、ご自分で受付が出来ます。自動精算機は、会計呼び出し画面に会計受付番号が表示されたら、患者さん自身が精算機の内面に沿ってお支払い頂けるようになっています。

10 総合受付



医療事務
杉友 美千代

⑩総合受付では、医事課職員のうち、おもに5名が対応をしています。再来予約患者さんの再来受付機での操作補助や保険証の確認。予約外患者さんの受診対応に初診の方のカルテ作成。会計受付番号の発券や自動精算機の操作説明。また、入院説明や案内など様々な対応をしています。新病院となり、再来受付機や自動精算機とシステム化していますが、皆さまにご理解ご協力を頂けるように操作時の説明や補助をさせて頂いています。ウィズコロナの中、マスクをしても笑顔忘れず、患者さんとのコミュニケーションを図り、円滑な対応ができるよう努めてまいります。

総合受付



再来機



自動会計機



コロナ問診ブース

薬剤部



安全キャビネット

エアシューター

薬剤部は薬剤管理部と診療薬剤部で構成されています。薬剤師がそれぞれ5名と8名、クラークが1名配属されています。薬剤管理部は、調剤業務、TPNや抗がん剤の調整、薬剤の在庫・品質管理、

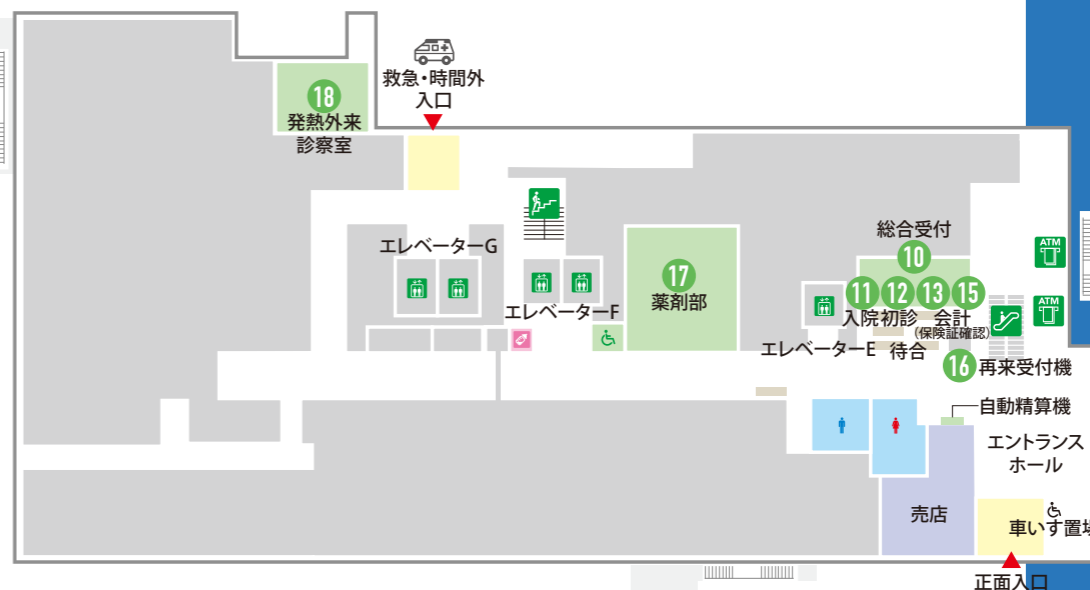


薬剤師
石井 芽衣

外来業務等を行っています。診療薬剤部は、病棟業務、透析室業務、服薬指導、TDM業務等を行っています。新病院になってから外来に外来担当薬剤師が新たに配置されました。外来担当薬剤師は、外来患者さんのお薬に関する知識の向上や、飲み忘れが多い方に対する服薬アドヒアランスの向上を目的とし、患者さんの治療がより円滑に進むようにサポートさせていただきます。また、抗がん剤を調整するための安全キャビネットや薬剤を各階まで運ぶためのエアシューターが設置され業務をより安全に、またより迅速に行うことができるようになりました。今後は、ポリファーマシー対策や薬薬連携にも力を入れ、治療をよりサポートできるように努めていきたいと思っております。



売店



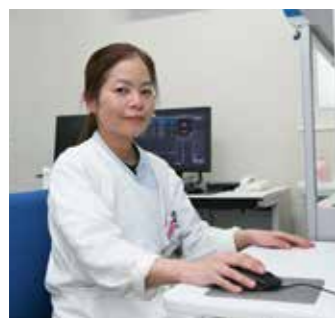
- エレベーター
- エスカレーター
- 階段
- トイレ
- 授乳室
- ATM



看護師主任
数藤 康代

外来は2階フロアがメインとなりました。各診療科診察室エリアと頻度の高い放射線検査や生理検査のエリアに分かれ、同じフロア内で完結できるような動線へと変化しました。2階への移動には随時使用可能なエスカレーターや、2階外来までの専用エレベーターの設置で、移動までの待ち時間が少なくなりました。部門ごとに受付を配置し、患者さんご到着の確認を速やかに行い、少しでも待ち時間を短縮できるようにしました。また診療部門受付においては、待合フロア廊下に配置したことで、患者さんご様子を伺い知りやすくなりました。各診療室の近くの待合で安心してゆったりくつろいで待機いただけるように心がけております。2階フロアの中央部分に看護師が配置される中央処置室があり、各科の診療後の注射の実施や、検査やお薬についてのご説明など、気がかりがある場合や、体調がすぐれない場合にもすぐ対応できるようにしております。また、化学療法などの対応できるスペースも有しております。各診療科の診察室の医師をはじめ多職種との連携を図り、患者さんへ安全に医療サービスの提供が行われるよう支援したいと考えております。

外来



診療放射線技師
谷 恵理奈

X線撮影室、X線TV室、結石破砕室、核医学検査室があります。2階X線撮影室は主に外来患者さんや外来患者さんの胸部や腹部の単純撮影を行っています。X線TV室では胃透視や注腸などを行っています。結石破砕室では腎結石や尿管結石を外科的手術せず、体の外より衝撃波を当て治療しています。核医学検査室では放射性同位元素と呼ばれる放射線を出す物質を含んだ薬品を体内に投与し、心筋シンチや骨シンチなどを行っています。病院新設移転により、X線TV装置と核医学検査装置が新しくなりました。核医学検査装置においては、旧装置より検査時間が短く、画質も向上しております。今後も患者さんにより一層、最良の検査が行えるよう努力していきます。

2階放射線室



NEW
2F Hospital
Kawashima

- 20 案内窓口
- 21 外来治療室
- 22 採尿室
- 23 採血室
- 25 中央処置室
- 30 診察受付
- 26 27 28 31 32 33 35 36 37 診察室
- 40 診察受付
- 41 42 43 45 46 47 診察室
- 50 歯科診察受付
- 51 52 53 55 歯科診療室
- 60 診察受付
- 61 62 63 65 診察室
- 66 膀胱鏡室
- 67 核医学検査室
- 68 結石破砕室
- 70 内視鏡・生理検査受付
- 71 X線TV室
- 72 X線撮影室
- 73 83 心電図室
- 75 脳波室
- 76 X線撮影検査受付機
- 77 78 81 82 エコ一室
- 85 血管機能検査室
- 86 一般生理検査室
- 87 88 内視鏡室





CT

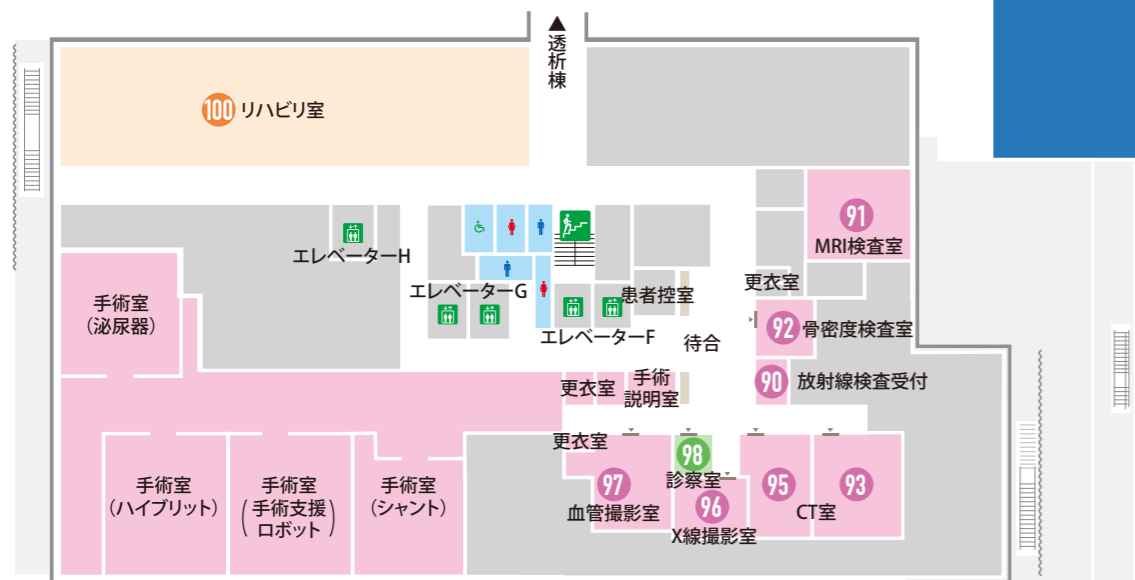
NEW
3F Hospital
Kawashima

- 90 放射線検査受付
- 91 MRI検査室
- 92 骨密度検査室
- 93 95 CT室
- 96 X線撮影室
- 97 血管撮影室
- 98 診察室
- 100 リハビリ室

3階放射線室



放射線室では診療放射線技師13名(男性10名、女性3名)・看護師2名(外来・手術室)・受付事務1名で業務をおこなっています。業務内容としては、医師・看護師と連携をとって、X線撮影・CT検査・MRI検査・透視検査・血管造影検査・心臓カテーテル検査・R検査など様々な検査や撮影をおこなっています。



検査室



検査室

検査室では、患者さんからの状態を詳しく調べ、病気の診断や治療方法を決定する為に検査をします。検体検査室では尿一般検査、血液検査、生化学検査、免疫検査、輸血検査など。また、腎生検で採取した腎組織の薄切や染色を行う病理検査をします。新病院検査室では、感染症検査の専用ブースを設置しウイルス検査を行っています。新型コロナウイルスのPCR検査も院内測定で行っており、検査当日に結果を提供しています。



バイオラッド社
全自動輸血検査装置
IH-500

徳島
初導入

効率化と
質の向上へ



PCR検査

います。また、以前よりも空間が広がったことで、患者さんやスタッフが快適に過ごせるようになりました。採血室では、外来患者さんの採血と採尿の案内をします。新病院では、採血管準備装置を増設し、透析患者さんの採血管準備もしています。今後も検査室として、精度・技術・知識の向上に努め、正確な検査結果を返すことにより、患者さんの正確な診断、治療につながるようになっていきます。



臨床検査技師
酒巻 里菜 中岡 加奈子

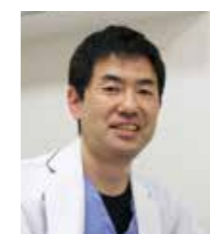
歯科診療室



化学療法室



歯科診療室にはご自分で歩いて来られる方、付き添いが必要な方、車椅子で来られる方、入院中でストレッチャーのままで診療を行う必要がある方など様々な方が受診されます。こういった有病者の方々の歯科診療について、う蝕から嚥下障害まで色々な症例の治療やリハビリを行っています。診療は、外来でももちろん、入院中の患者さんでも対応可能です。これらの診療は開設以来変わらず行ってきましたが、新病院で最も大きく変わった点は、歯科電子カルテシステムの導入です。病院のカルテを参照し、患者さんの病態を把握して診療するスタイルは従来と変わりませんが、病院の電子カルテ内で歯科システムを稼働できるように、医療はもろろん予約、会計に至るまで『1患者1カルテ』が実現しました。システムだけでなく医科診療室と同じエリアにて診療を行えるようになり、さらに医科歯科連携を深めていけるように診療に取り組んでいきたいと考えています。



歯科医長
川島 友一郎





看護師長
笹田 真紀

今後部署としての展望
私たちが心がけていることは、安全に手術・検査ができることはもちろんですが、心のこもった温かい看護を提供することです。
新病院となり整形外科手術・ロボット支援手術・消化器内視鏡検査の新規手術・検査などを取り入れたことで、医療の充実を図り、地域に貢献したいと考えます。

手術室

手術室の特徴

手術部は、手術業務・カテー室業務・内視鏡業務・中央材料室業務を担っております。

新しく取り入れたソフト面(運営方法)について

新病院移転に伴い、整形外科手術(人工関節手術)やダヴィンチ手術の新規取り組み。中央材料室の新規器械導入に伴い、器械洗浄が可能となり、中材の業務効率化できた。手術室が1室化し、部屋数の増加で待機なく手術が可能となった。

新病院に移転してPHILIPS製の装置を多く導入しました。CT装置(Spectral CT 7500)はスペクトラルデータを使用した日本では最新の機種になります。
MRI装置(Ingenia 1.5T Evolution)は圧縮センシングにより撮像時間の短縮を実現するとともに、同じ撮像時間でより画質の向上に努めています。
また、IVR装置も心血管撮影室2台、血管撮影室1台と計3台となり、経皮的冠動脈インターベンション、末梢動脈疾患のカテーテル治療、経皮的シヤント拡張術、肝動脈化学塞栓術などの検査や撮影をおこなっています。
今後とも安全で安心な検査の提供、質の高い検査の提供を心掛けたいと考えています。



診療放射線技師 溝淵 卓士

**最新の
充実した設備で
高度な医療や診断**



内視鏡

整形ナビゲーション

新しく取り入れたハード面(設備)について

- | | | | | |
|-------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|-------------------|
| 手術室 | ●ダヴィンチXi | ●ナビゲーションシステム(整形外科) | ●セルセーバー(回収式自己血輸血) | ●ネプチューン(排煙・排水吸引器) |
| | ●人工関節リハビリアプリ(四国初導入) | ●整形外科:3Dテンプレート(ZedHiP)徳島県初導入 | | |
| | ●内視鏡 | ●超音波内視鏡(FUJI) | ●カプセル内視鏡 | |
| 中央材料室 | ●ステラット100NX | ●ウォッシャーディスインフェクター GETINGE 86シリーズ 2台 | | |
| | ●ハイブリッド滅菌機(低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌併用高圧蒸気滅菌) | | | |
| | ●RO水製造装置 | ●恒温槽 2台 | | |



リハビリ室



作業療法士
登井 麻絵

リハビリ室は理学療法士9名、作業療法士2名、クラーク1名で、入院患者様及び外来患者様のリハビリテーションに携わっています。
新しいリハビリ室は木目調の床を採用し、温もりの感じられる空間となっています。設備面では心臓リハビリテーションの拡充に向けて、ウォーキングペーサー、リカンベント型エルゴメーターを導入しました。また訓練用階段を設置し、安全かつ実用的な訓練が行えるようになりました。
2021年4月から整形外科吉岡伸治医師が着任され、新病院移転後から股関節・膝関節の人工関節置換手術を行っており、術後のリハビリテーションにも力を入れています。スマートフォン用術前術後ケアアプリ「my mobility」を導入し、手術を受ける患者様に手術前後の情報提供(生活・運動・術後合併症等)を行っています。



NEW
4F Hospital
急性期病棟



4階病棟看護師主任
香川 高之

4階病棟は主に循環器系と消化器系の治療を中心とした病棟で、35床の一般病棟と7床のER (Emergency Room: 救急救命室) があります。
一般の病棟では、循環器疾患の検査・内科および外科的な治療を行う患者さんへの看護や、心臓や血管の手術を控える患者さんの看護を行っています。また、急性期を過ぎた患者さんが、退院や転院に向けて病気への理解を深めるための指導やリハビリテーションを行うための援助をしています。

ERでは、カテーテル治療やABLなどの術後・そして心不全・急性心筋梗塞などの治療を経た、重症な患者さんを受け入れ、ベッドサイドでのモニタリングや人工呼吸器の管理など、急性期の状態にある患者さんの看護を行っています。ERで回復した患者さんは一般病棟へ転室します。
4階病棟では、看護師だけではなく、医師や理学療法士、薬剤師、管理栄養士、ケースワーカーなどの多職種間で意見を交換し、チームとして協働しています。日々の看護に活かす取り組みをしています。病棟内には心臓リハビリテーションの講義室や運動室があり、病棟看護師が指導にあたることで入院中から外来まで継続した看護を提供しています。

病棟
心血管撮影室
ER



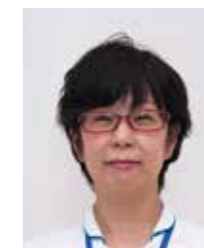
2021年8月1日に旧川島病院から、7階建て免振構造の新病院へ移転しました。スタッフステーションはオープンで、患者さんや家族の方も立ち寄りやすくなっていると思います。病室も以前に比べてスペースは広く、病室の窓は大きめで明るく、特に6階デイルームからの田宮川の眺めは患者さんのホッとできる場所になっています。各床頭台に設置されたタブレットは、「シクトグラム」といって、患者さんの基本情報、バイタルサイン、転倒リスクの有無など、我々医療者が患者さんのベッドサイドで情報を確認できるツールとして導入されました。また、起き上がりを感じしナースコールに連動できるスマートベットシステムがあり、転倒の低減に努めています。

6階病棟は、慢性腎臓疾患・糖尿病コントロール・リハビリなど、慢性期の患者さんの受け入れに力を入れて、日常のケアが中心であり、患者さんの立場に立った温かみのある看護を目指しています。また、退院時は患者さんや家族ができるだけ不安なく過ごせるよう、ソーシャルワーカーと連携した、きめ細やかなサポートを心がけています。



6階病棟看護師長
祖地 香織

6階病棟



5階病棟看護師長
秋山 和美

5階病棟

5階病棟は、腎泌尿器科、整形外科、血液内科疾患を対象とする急性期病棟です。

病棟は40床で、観察室、重症透析室、感染対応可能な陰圧室や、陽圧室を完備しそれぞれの病室で透析が行える設備が整っています。

8月の移転後より整形外科と血液内科疾患の診療が本格的に稼働となり、病床稼働率も増加し日々、入退院が多くなっています。手術もアクセスや泌尿器科を中心に、整形では、人工股関節と膝関節の全置換術が行われています。また腎移植なども対応しており、看護師も幅広い知識が必要になります。スタッフも統一した知識をもって安全な看護が提供できるよう、病棟では定期的に勉強会を開催しスキルアップに取り組んでいます。

看護師は若手からベテランまでと様々で、皆が思いやりをもった看護ができるスタッフばかりです。明るく元気でチームワークのある活気あふれた病棟です。



オープンなスタッフステーション



スマートベッドシステム

NEW
6F Hospital
Kawashima

慢性期病棟

- 病棟
- 観察室
- 器械浴室
- 処置室
- シャワー室



NEW
5F Hospital
Kawashima

急性期病棟

- 病棟
- 透析室
- 観察室
- 器械浴室
- シャワー室



2021年8月1日、川島病院と川島透析クリニックが統合され、新川島病院として生まれ変わりました。

川島会は6つのサテライト透析室（鴨島川島クリニック・鳴門川島クリニック・脇町川島クリニック・阿南川島クリニック・藍住川島クリニック・川島透析クリニック）を持ち、腎不全治療の専門病院として血液透析・腹膜透析・腎移植を合わせ約1100名の末期腎不全患者の診療にあたっています。

維持血液透析患者さんにおいては、住み慣れた地域のサテライトや病院として「透析患者さん」を最期まで見る「思いやりの看護」を心がけ、回復した治療の特殊性から「一生のおつきあい」で透析治療やケアの提供を行います。

今回の統合により、病棟との連携を密に図れるようになりました。また、重症透析患者さんや高齢認知症患者さんの増加に伴い、医師・看護師・臨床工学技士・クラーク・看護助手に加え、栄養士や理学療法士など他職種・他部署との連携もスムーズに行える環境が整いました。透析室として各職種が専門性を活かし、医療の質向上と患者さんを中心とした透析治療を提供できるようチームで関わりたいと思います。

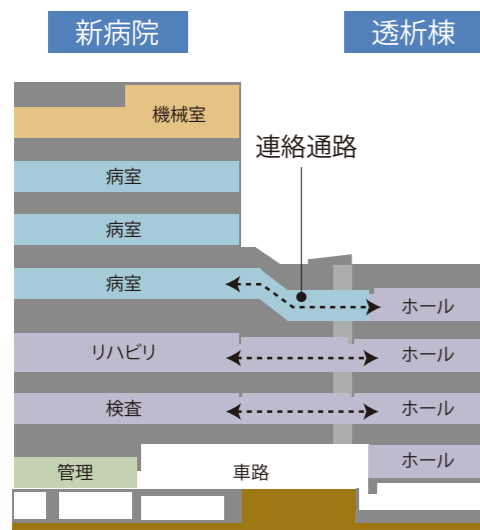


透析室看護副部長
平野 春美

透析室の展望



透析棟との確実な接続



2~4階に新設する連絡通路により建物内部でフラットに接続します。

Kawashima
透析棟
Hospital



栄養管理室

栄養管理室は管理栄養士7名で外来・入院の患者様に対し、栄養指導や栄養管理を行っています。

新病院では栄養管理室は7階に位置し、新しい厨房で入院食と職員食の調理を行っています。新しくプラスチックや電解水生成装置を取り入れ、より衛生面に配慮した食事の提供ができるようになりました。

また、当院は給食業務を全面委託しており、委託会社のスタッフと協働して入院食を提供しています。新病院移転に



管理栄養士
大西 嘉奈子

伴い新しい委託業者に変わりました。

残念ながら現在はコロナ禍のため利用制限がありますが、新病院では各病棟に食事をとれるスペースを設けています。外の景色を見ながらお食事を楽しめるようにしています。

今後も患者様の状態に合わせて栄養指導や栄養管理を行う事で、疾病の早期回復・合併症の予防を図り、診療部門の一つとして栄養面からサポートしていきたいと思っています。



NEW
7F
Kawashima Hospital

職員食堂
職員厨房
厨房
栄養管理室



栄養管理室



新病院に移転して思うこと



社会医療法人 川島会
川島病院 院長

西内 健

新

病院に移転し、2か月にになりました。だいぶ慣れてきて日常業務には困らなくなったところですが、新築に際して目指したことで達成できたものもあり、これからの運用、業務改善にかかっていることもあります。建築、移転、新病院の運用について思うところを書いてみます。

2017年に新病院の建築計画をスタートし、災害に強い構造、わかりやすく快適な療養環境、最新の医療機器の導入、働きやすい環境などを目指し建築を進めてきました。建築途中は本当にいろいろなことがありましたが、無事完成の日を迎え、2021年7月25日に完成記念式典を行いました。コロナ禍の中でもあり、感染防御を行い少人数での式典でしたが無事終了し、8月1日に入院

患者さん全員の移動、8月2日月曜日から外来診療を開始することができました。新型コロナウイルス対策を行いながらの病院建築・移転業務であり、打合せや作業にも不自由さを伴うものとなりました。また、同じ時期に消化器内視鏡・治療の拡充や整形外科手術の開始、透析室の院外処方化、電子カルテのバージョンアップなどが重なったこともあり、本当に多忙な期間でした。各部署それぞれの立場で分担・協力し、職員の皆様の奮闘により事故なく患者移転、業務の継続ができたことに對し、心より感謝しております。また、移転に際しましては休診、救急患者受け入れの制限を行い、患者さんを含め多くの方のご協力をいただきました。御礼申し上げます。

多くの業務分担・手順の更新を必要とします。例えば、これまで別医療機関であった旧川島透析クリニックが病院と一体になり便利になりましたが、このことにより多くの業務手順を変更する必要がありました。災害対策のため外来診療の主要部分を2階以上に配置しましたが、これにより1階の受付部門と診察部門の連携方法が変化し、作業分担の変更も必要になります。しかし、この手順変更の機会を、無駄を省いた業務改善につなげる見直しの機会と捉えることが大切だと思います。それぞれの部署がよく考え、順調に移行できた部分が多かったのですが、一部机上で作成した計画では不十分な点がありました。想定外のことはいくつか発生しました。というように、8月中はまだ多少の間

題を残していましたが、9月になつてやっと落ち着いて業務を行えるようになってきました。7階の食堂は見晴らしがよく、メニューも増えて多くの職員も昼食が楽しみになったのではないかと思います。医療機関は、より良質の医療を提供するよう日々努力することが最重要課題ですが、そのためには職員の今持っている力、今後持つであろう力を十分に発揮できる舞台としての病院が必要です。最新の医療機器が設置できる構造や広さはもちろんですが、各部門等との連携をスムーズにして多職種連携が充実するようなレイアウト

も大切です。そういう意味で旧病院に比較して大きくパワーアップしたのになりましたが、同時にわれわれもパワーアップして、施設を更に有効活用し、満たした医療を提供したいと思っています。幸い、当地では建築終了まで大災害の発生がありませんでした。今後発生が避けられないであろう大災害においても新病院は真価を発揮するものと確信していますが、そのためには新病院用にバージョンアップした災害対応の準備、訓練が必要です。大災害時にも医療提供を継続できるよう対策の見直しを続ける必要があると思っています。

ます。新病院は、今後の疾病構造の変化や、マンパワーの充実、新規医療機器の登場にも対応できる施設だと考えています。建築としてはほぼ完成しましたが、医療機関としては建築の終了で完成するのではなく、人が運用して初めて真価を発揮します。より良い運用のために知恵と力を貸していただきたいと思えます。患者さんの望む医療、職員が提供したい医療を実践できるよう今後ともご協力をお願いいたします。

連携をスムーズにする

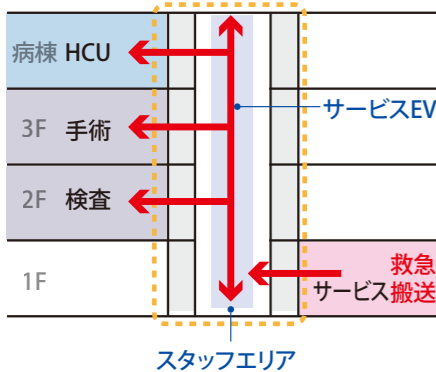
わかりやすい新病院

- 患者動線を単純・直線化する
- 職員専用のエリアを確保する



職員専用のエリア

職員専用のエリアを設け、それを同じ位置に重ね、職員の移動や緊急時の移動を容易にします。



第66回

特集2

日本透析医学会 学術集会・総会

チームの俯瞰・発想・行動力
～良質な医療とケアの発信～

会長 岡田一義

日時:2021年6月4日(金)ー6日(日)

会場:パシフィコ横浜



2021年度 事業計画 川島ホスピタルグループ



1へき地医療の支援

引き続きへき地診療所に医師派遣を行い、へき地における医師確保に貢献する。

2診療内容の充実

- ① 透析患者数の停滞が予想される中で診療科目の拡大に努める。
- ② 診療圏の拡大などにより外来診療を強化する。
- ③ 川島病院にて消化器内科、整形外科外来を強化する。
- ④ 現在の川島病院3号館を診療所として開設し、ケアハウスあすか入居者等の人工透析治療を行う患者に対し、適切な医療を提供する。
- ⑤ 各分野で、より専門性の高い診療を提供する。

3透析患者の確保

① 医療支援部を発足して通院支援を強化し、外来透析患者の利便性の向上に努める。

4川島病院の新築移転

- ① 新病院を作り上げ、医療を途切れさせないような移転と同時に安全に稼働できるようにする。
- ② 川島病院の「理念」、「基本方針」に則り、適切な運用ができる施設とする。
- ③ 発生確率の高い南海トラフ地震に対応できる免震構造とし、災害発生後も地域医療の継続を可能とする。
- ④ ロボットなど最先端医療機器を導入し、地域医療の発展向上に寄与する。
- ⑤ 既存の川島透析クリニックと統合・連結することにより、人工透析治療を行う患者に対し、より適切な医療を提供する。
- ⑥ 誰にも分かりやすい施設 設備配置とし、患者、業者、職員等の移動が適切に行える施設とする。

⑦ 光と風を適切に管理し、患者、職員等が快適に過ごせる施設とする。

⑧ 敷地概要等
計画地：徳島県徳島市北佐古番町13番66番他
敷地面積：約15,000㎡
用途：…病院(123床)
延べ面積：約12,700㎡
高さ：…約34m
規模：…地上7階塔屋1階
構造：…免震構造(中間免震)、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

5歯科診療による患者ケアの充実化

- ① 全身疾患を有する患者の歯科治療を実施する。
- ② 入院患者の口腔ケアと摂食嚥下障害への対応を行う。

6職員数の確保

- ① 円滑な業務執行のため、インターネット等を活用し適切な職員数の確保を行う。

7災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進

- ① 透析患者の高齢化に伴い、増加が想定される透析中の抜針事故防止対策の強化を図る。
- ② 医療事故防止のため、勉強会の開催等を通じ職員の技術能力の向上を図る。
- ③ 大規模震災を想定しての定期的対応訓練及び災害に備えての準備を実施する。
- ④ 各種手順やマニュアルの周知徹底及び実行を促進する。
- ⑤ 対策月間設定等による全職員に対する啓発、教育を強化し充実させる。
- ⑥ 震災対策会議を開催し内容を一層充実させる。

8教育・研究活動の強化と支援

- ① 新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容を充実させる。
- ② KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加を奨励し支援する。
- ③ KHGと関連のある分野の研修会、講演会、セミナーへの参加を奨励する。
- ④ 院内学習会を定期的に実施し、部署ごとの勉強会、抄読会を頻繁に実施する。
- ⑤ 部署目標 委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価を行い、改善のための指導を実施する。
- ⑥ 部署、委員会における研究及び活動テーマ発表会を実施する。
- ⑦ 業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援を実施する。

9地域社会との交流や関連施設との連携の強化

- ① 健康福祉フェスタを実施し内容を一層充実させる。
- ② 震災対策会議を開催し内容を一層充実させる。(再掲)
- ③ 広報誌を継続発行し内容を一層充実させる。
- ④ ホームページの内容を充実させタイムリーに更新する。

10新型コロナウイルスの対応を行う

11 病院、クリニックで、具体的な2021年度事業計画を策定する



今回の第66回日本透析医学会では当院の岡田一義副院長が大会長を務めるという大変名誉なご推挙についてまずお礼を申し上げてから、座長として特別講演の講師である横倉義武先生について三つのキーワードを中心に紹介した。

まず第一点は福岡県立修猷館高校時代にスキー選手として国体出場を果たしたスポーツマンであると紹介した。そして二点目は久留米大学心臓



川島ホスピタルグループ 会長 川島 周

血管外科在職中にドイツ留学もされ、将来の教授候補として囑望されていた優秀な外科医であったことに触れた。二点目は日本医師会長また世界医師会長として日本医療界を代表し、日本の医療界の意見を集約しながら日本政府と医療政策全般にわたって交渉し、難題解決に奔走してきたことを述べた。

演題名は「医療技術とシステムのグローバル展開」であり、先生の日本医師会長や世界医師会長としての経験から医師あるいは医師会の使命について包括的に講演いただいた。

ご存じのようにアメリカ合衆国では保険会社主導の医療提供体制が構築され、他の先進国でも医療行政を束ねる行政当局と医療界を代表する医師会との協議や交渉は日本を除いて制度的には行われていない。国民皆保険制度を維持しながら所得の多寡にかかわらず、全国民に平等な医療提供体制を維持してきたことは行政と医師会との協同作業の賜物と考えている。今後日本医師会としては山積する課題の中から、膨張する社会保障費への対応と、今回のコロナ禍で露呈された社会保障制度にまつわる欠陥をいかに克服すべきかなどが最重要問題として表面化してくると思われるという趣旨であった。

いずれにせよ横倉先生の座長を仰せつかるというありがたい役割をいただいたことに、岡田会長をはじめ、関係者に厚くお礼を申し上げます。

巻頭言



川島病院 副院長 岡田 一義

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により、川島会の多くのスタッフはWEB参加にならざるを得ず、大変残念でした。

「チームの俯瞰・発想・行動力」良質な医療とケアの発信」をテーマに選びました。「コミュニケーションスキルにより患者さん・家族らと良好な関係を構築するとともに、私が2001年の本学術集会で提唱した「尊厳生(そんげんい)」の立場で患者さんを支援することが重要です。会長講演「良質な医療とケアを提供するコミュニケーションの実践」で、これらのポイントを話しました。

に、そのポイントも話しました。会長特別企画「オンラインHDFの生命予後を再考する」で、日本式後希釈オンラインHDFが生命予後を改善するエビデンスを発信し、今後も新しいエビデンスを発信したいと思えます。

感染力の強い変異型により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されている地域がある中で、ワクチン接種がすんだ医療従事者が多数参加した初めての大規模な学術集会となり、十分な感染対策を講じた結果、感染者は1名も出さない運営ができました。また、今年は、東京オリンピックが開催され、忘れられない学術集会になりました。

今回「Centers for Disease Control and PreventionのBurrows先生と政府分科会会長の尾身先生の講演を含め、多数の国内外の充実したCOVID-19プログラムがあり、最新の情報や他施設での対策を知るよい機会になりました。近年重要視されていますアドバンス・ケア・プランニング(ACP)と共同意思決定のプログラムの中で、川島会が作成しましたACPパンフレットを紹介することも



The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Dialysis Therapy

JSDT演題一覧

川島 周	医師	司会	横浜	特別講演1 医療技術とシステム(COVID-19対策を含む)のグローバル展開
水口 潤	医師	司会、演者	横浜	《司会》 会長特別企画1 わが国におけるオンラインHDFのエビデンス発信を目指して 特別講演8 腎臓病および透析関連合併症に対するAIM創薬 ランチョンセミナー15 腎性貧血【共催:パイエル薬品株式会社】 ランチョンセミナー23 オンラインHDFの生命予後を再考する【共催:ニプロ株式会社】 会長講演 良質な医療とケアを提供するコミュニケーションの実践 シンポジウム24 在宅腎不全治療普及のために克服すべき課題と展望2021 ランチョンセミナー28 レーザー血流計を活用した透析患者における下肢末梢動脈疾患の早期発見【共催:株式会社ジェイ・エム・エス】 《演者》 日本腹膜透析医学会からの提言



JSDT演題一覧

西内 健	医師	司会	横浜	イブニングセミナー2 腎臓専門医からみたMRBへの期待【共催：第一三共株式会社】
岡田 一義	医師	司会、演者	横浜	《司会》 会長特別企画2 日本専門医機構による透析専門医認定の現状と問題点 学会・委員会企画3 専門医制度委員会企画 専門医制度の現状と課題 招待講演5 Current Status of the COVID-19 Pandemic in the United States and CDC Recommended Practices Diabetes and Chronic Kidney Disease: US trends and public health programs to improve outcomes 特別講演13 チーム育成とコミュニケーションのコツ 《演者》 透析療法の予後～多施設共同(単一法人)による後向き観察研究～ 透析専門医の過去・現在・未来 透析チーム医療指針と迷惑行為対策指針 透析室臨床倫理指針 提言の正しい理解と普及を目指して～透析professionalとしての役割を果たすために～ Advance Care PlanningとShared Decision Making:CKD患者の実施に向けて 提言改訂と保存的腎臓療法選択～透析professionalのあり方～ ランチョンセミナー23 オンラインHDFの生命予後を再考する【共催：ニプロ株式会社】 川島会におけるオンラインHDF治療条件と生命予後 良質な医療とケアを提供するコミュニケーションの実践 「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」の作成経緯とその課題」
土井 俊夫	医師	司会	横浜	教育講演 I 11 CKD-MBD診療指針
川原 和彦	医師	司会	横浜	コメディカル透析セミナー28 県単位での腹膜透析普及への取り組み
小松まち子	医師	演者	web	血液透析2型糖尿病患者におけるインスリン デグルデク/リラグルチド(IDegLira)の有用性
西谷 真明	医師	座長	横浜	一般演題ポスター(座長あり) その他合併症-3
野間 喜彦	医師	司会	web	コメディカル透析セミナー27 透析室スタッフが習得必要なシャントエコー技術
川島友一郎	歯科 医師	演者	web	血液透析患者における口腔疾患治療指針
島 久登	医師	演者	web	診断が困難であった透析患者の壊死性筋膜炎による敗血症性ショックの一例 血液透析患者の急性胆道炎による血流感染症の特徴 血液透析とオンライン血液濾過透析による血中フェノール誘導体、核酸除去率の比較 ランチョンセミナー13 腎臓領域に潜在する希少疾患～ファブリー病～【共催：大日本住友製薬株式会社】 ファブリー病症例をいかに診断し治療するか 血液透析患者の敗血症・菌血症



理事長
水口 潤

第66回日本透析医学会学術集会・総会では社会医療法人川島会川島病院副院長・血液浄化管理センター長の岡田一義先生を大会長として開催された。テーマは「チームの俯瞰・発想・行動力」良質な医療とケアの発信」であり、透析患者の高齢化が進むなか、チーム医療を推進し医療とケアの連携を進めるとの意味で時をえたものであった。コロナ禍で現地開催が危ぶまれるなかでの開催であったが、現地

参加の会員も少なからずみられ、久々ぶりに学会ムードを味わえた集まりであった。私は病院関係者としてで会長講演を始め特別講演、会長特別企画、シンポジウムの司会や座長など多くの役割をいただいた。特に会長講演は「良質な医療とケアを提供するコミュニケーションの実践」との演題名であり、岡田先生のライフワークである「尊厳生(そんげんせい)や終末期医療に則したものであった。また特別講演の東京大学大学院医学系研究科分子病態医科学宮崎徹教授による「腎臓病および透析関連合併症に対するAI-M創薬」では血中タンパク質AI-Mが様々な疾患の発症抑制や治療において重要な役割をはたしていること、AI-Mによるセルフ・パソジェンの認識と除去が、腎臓病をはじめ多くの難治性疾患の新しい治療法となる可能性について解説された。この領域に関しては、当院が臨床研究に協力している分野であり発展が期待されている。さらに会長特別企画「わが国におけるオンラインHDFのエビデンス発信を目指して」では岡田大会長により、当院で行われている蛋白リークを伴うHDFの臨床成績が発表され注目された。各セッションでは川島会の医師やスタッフが座長や演者として活躍するとともに、セッションの間には新川島病院の紹介動画も紹介され、川島会のアピールにつながる学術集会であった。

The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Dialysis Therapy

川島病院副院長の岡田一義先生が大会長を務める、第66回日本透析医学会に参加させていただきました。私はコロナ禍の時代になって初めての学会会場への参加でした。パシフィコ横浜でのハイブリッドでの開催でしたが、会場参加の人数は少なく、コロナ以前の透析医学会を考えると寂しく感じました。
私は6月4日のイブニングセミナー2の司会をさせていただきました。演者は徳島大学医師薬学研究所腎臓内科学分野教授の脇野修先生で、「腎臓専門医からみたMRBへの期待」と

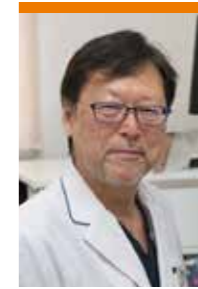


川島病院 院長
西内 健

いうご演題で講演いただきました。高血圧治療におけるミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の役割。アルドステロン高値CKD患者はCKD進行速度が速く、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬はその進行を抑制する可能性がある事。今後アルドステロンブロッカーの血液透析患者に対する臨床応用も期待されるなど、興味深く拝聴いたしました。
脇野先生は2021年4月に徳島大学に赴任されたばかりですが、今後徳島の腎臓内科を大発展させていただける方と確信いたしました。
今回の学会は感染対策のため他の会場にはほとんど行けず、情報交換も何もなく、宿泊は羽田空港で、味気ない学会でした。早く、安心して学会に出席できるように欲しいものです。

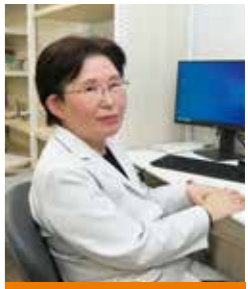


腎センター長
土井 俊夫



鴨島川島クリニック 院長
川原 和彦

2019年12月1日中国で最初の患者発生したCOVID-19は、2020年3月11日にWHOがパンデミック(世界的な大流行)の状態にあると表明し、世界的にも大きな感染の波を引き起こしました。そして、学会が開催された2021年6月4日〜6日は、世界的には4番目の大きな波が下り坂に向かう途中でした。日本でも、世界の流行に少し遅れる形で各流行を迎えていましたが、この時も3月15日にピークを迎えた第4波が、7月25日まで下り坂に向かう途中でした。日本の第4波に対しては、4月25日から非常事態宣言が4都府県で始まり、最大21都道府県に拡大し第5波の収束する9月30日まで宣言されていました。なので、会場の横浜市は、まん延防止等重点措置がとられている時期でした。日本では2021年2月から始まった医療従事者のワクチン接種ですが、私達も2回目の接種

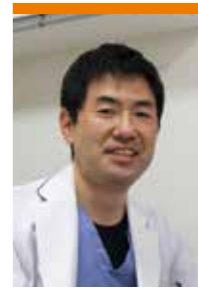


糖尿病内科部長 小松まち子

を終えていました。コミナティーは、当時は94%程度の感染予防効果があると考えられていたため、まず大丈夫でしょう、と久々の現地参加での学会となったわけですね。会場のパシフィコ横浜に歩いて行けるホテルに宿泊しました。人の流れは、予想に反して、パシフィコ横浜に向かう人はまばらでしたが、横浜方面に向かう人の流れは、以前と同様に混雑している状況でした。医療従事者とそうでない方々の、感染に対する警戒心の差であったのでしょうか。また、食事にしても、飲食店でのアルコールは禁止されていました。まあ、タクシーの運転手さんの話では、野毛あたりでは朝からアルコールが提供されていたようですが、そして会場で実際に参加しましたが、聞きたいセッションは無条件で着席できました。かつてない経験でした。確かに、聴講するだけであればWebはむしろ快適なことがあります。討論するには不自由ですが、それもVRなどが整えば可能なのではないでしょうか。日常を離れ、学会に行くという楽しみもありますが、今後どちらが主流になるのか、非常に興味深いところです。

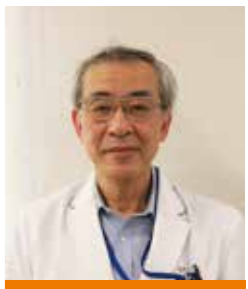


泌尿器科診療部長 西谷 真明



歯科医長
川島 友一郎

日本透析医学会 総会にてコメディカルスタッフを対象に『血液透析患者における口腔疾患治療指針』というタイトルでお話させて頂きました。今回はチームの俯瞰・発想・行動力がメインテーマでしたが、歯科界にとって医科歯科連携は非常に重要なテーマであり、この学会での公演は大きな意味がありました。しかし、1つ残念であった事は、会場へ行けず、Web参加となり内容を皆さんへお伝えできなかったのか、肌で感じる事ができなかった事にあります。そこで少し要約を記載させて頂いたと思います。皆さんにとって歯科とはどんな所でしょうか。痛くなったら、何か困ったときにかかる場所でしょうか。日本歯科医師会の調査によりますと、日本人の半数は自身の口腔内に自信がないという結果です。しかし定期的な診療を受けている方は3割程度です。そんな中で、透析患者の歯科診療を行う



糖尿病内科部長 野間 喜彦

していく際には様々な問題に直面します。まず透析治療を行っていることにより生じる口腔内の問題があります。多くの方は口腔内への関心が低く、管理不十分な状態です。次に全身状態や薬剤の影響も加わり、歯科診療時に配慮すべき事項は非常に多くなります。さらにそれを治療していく過程において、透析治療日・透析時間という制約は計画立案、予約取得にまで大きく関わってきます。歯科から遠ざかれば遠ざかるほど、口腔内の悪化から、咀嚼・嚥下機能低下、栄養摂取不良、全身状態の悪化を招く図式が形成されていきます。従って歯科スタッフだけでなく、透析医療に関わる全ての医療職の方々との連携が重要となってきます。医科歯科連携というキーワードは今後さらに強調していくべきことと考えます。繰り返しとなりますが、現地横浜で多くの先生方、コメディカルスタッフの方とディスカッションすることができなかった事が残念でなりません。このような素晴らしい学会にて歯科医師として発表の機会を与えて下さった岡田先生、関係者の皆様に感謝申し上げます。



腎臓内科 医長
島 久登

コロナ禍のため現地参加は困難で、Web参加となりました。当院の岡田一義先生が大会長を務められました。当院からも多くの演題発表があり、職種を問わず研究が盛んに行われていることを実感し、今回のテーマである「チームの俯瞰・発想・行動力」良質な医療とケアの発信」に相応しいと感じました。当院の研究委員会の取り組みの成果とも思います。私自身は東北大学との共同研究「血液透析とオンライン血液透析濾過による血中フェノール誘導体、核酸除去率の比較」論文(Shima H, et al. Blood Purif 2021;50(238-245)内容をもとに「血液透析患者の急性胆道炎による血流感染症の特徴」、日本感染症学会合同企画シンポジウム「血液透析患者の敗血症・菌血症」、当直で経験した「診断が困難であった透析患者の壊死性筋膜炎による敗血症性ショックの一例」、他ランチョンセミナーの計5演題の発表を経験しました。他施設の演題や教育講演も多く、勉強になりました。コロナ禍により少なくともあと数年は通常の学会現地開催は困難と思われるが、今後も徳島から継続して情報発信を行っていききたいと思えます。岡田大会長、関係者の皆様方に感謝申し上げます。



腎臓内科 医長
田代 学

今回、第66回日本透析医学会学術集会総会を川島病院主催にてコロナ禍の中、無事に開催することができました。岡田会長の掲げた開催テーマ「チームの俯瞰・発想・行動力」良質な医療とケアの発信」のもとでさまざまな業種で透析医療が成り立っている現状を再確認することができる学会でした。自分も大会事務局長として現地参加させていただき、微力ながらも大会運営に関わらせていただきました。特に感染対策に注意して、密にならないような会場作り、健康状態のチェック、マスク着用、アルコール消毒の徹底などを行いました。現地参加人数は例年より少なかったのですが、webでの講演、聴講もできるようなしており、活発な議論がされており盛り上がった学会となりました。自分も透析患者の血管石灰化、栄養障害について講演をさせて頂いた。透析管理の重要性について討論ができ大変勉強になりました。本学会では、コロナ関連の講演も多くみられており、透析患者のクラスターを発生させないように様々な感染対策や透析患者のコロナ感染における実状報告などもありました。

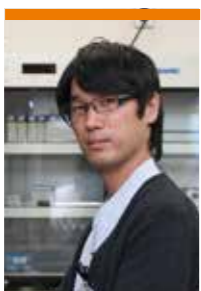
まだまだ、コロナ感染が収束しない中、全国の透析室でさまざまな業種が手をとり合って感染対策しながら、透析医療に従事しているのを再認識しました。

今回、このような素晴らしい大会運営に携わらせていただき岡田大会長、関係各位の皆様方に感謝したいと思います。



私は、今回、シンポジウム「高齢化社会における腹膜透析(PD)の普及」、コメディカルセミナーで「シンプルPD」について発表の場をいただきました。わが国は世界一の長寿国となり、今後は患者の高齢化や在宅医療の推進に伴いPDの必要性が高まると考えられる中、日本透析医学会の統計調査からもわかるように、欧米の国々と比較し血液透析患者数の多さに比べ、腹膜透析を受ける患者数が極端に少ないというアンバランスな状況が続いております。その背景には、SDMの不足や、医療スタッフ側のPDへの敬遠

今回は、「HD患者におけるネスプAGへ切替後の治療効果と医療経済学的効果」というテーマでポスター発表予定でしたが、コロナ禍ということもあり、残念ながら現地での発表はできませんでした。しかし、WEBを通して貧血やCKD-MBDに関する講演、



薬剤部主任
村上 真也

当日は演者および司会者が現地参加することができ、フロアからの活発な質疑応答などもあり、従来の環境の中で有意義なセッションが行われました。

この企画は、近年の超音波検査装置の発展に伴い、透析合併症を管理するために多くの透析施設で、エコー装置が導入されています。そこで、透析患者における腹部、循環器、バスキュラーアクセス、血管(頸部、下肢動脈)、肺エコーなどの各領域の超音波検査について、最新のガイドラインを基に、普段の透析管理業務に役立つ内容を取り入れました。

今回の学会では、透析シャントに関する最新の話題を数多く聴講できました。今後も、シャントエコーを通して、血液透析患者さんのシャント長期維持に貢献できるように、知識・技術向上に努めたいと思います。



腎臓内科医長
井上 朋子

「チームの俯瞰・発想・行動力」良質な医療とケア」というテーマで、2021年6月4日〜6月6日に第66回日本透析医学会学術集会・総会がパシフィコ横浜で開催されました。通常であれば、多くの参加者で賑わう学会ではありますが、コロナ禍の状況が続く中、非常に残念ではありましたが、オンライン参加となりました。今回のテーマであるチーム医療は、透析医療において非常に重要な役割を果たしており、治療から生活に至るまで、多職種からの視点や医療チームの連携が、患者へのより良い医療の提供につながることを再認識いたしました。

などが問題として考えられます。ただ、現在の地域包括ケアシステムを考えれば、在宅透析が最も推奨すべき方法であり、在宅療法が可能で自由度が高いPDは高齢社会を前提として、今後国が推奨していく透析方法のひとつであると考えます。



検査室主任
多田 浩章

今後の薬剤師の在り方に関する講演等、これからの薬剤師業務に生かすことができる多くの講演を視聴でき、実りの多い学会でした。



臨床検査技師
吉川 由佳里

コメディカル透析セミナー「透析室スタッフが習得必要なシャントエコー技術」という演題で発表させていただきました。シャントエコーは、検査室だけでなく、透析室でも行われ、正確性・再現性が重要視されています。臨床検査技師の立場から、シャントエコーの評価方法を解説させていただきました。また、今回の学会では、透析シャントに関する最新の話題を数多く聴講できました。今後も、シャントエコーを通して、血液透析患者さんのシャント長期維持に貢献できるように、知識・技術向上に努めたいと思います。

JSDT演題一覧

田代 学	医師	司会、演者	横浜	《司会》 コメディカル透析セミナー17 高齢透析患者の在宅支援 コメディカル透析セミナー32 シンプルPD 《演者》 心血管事故における血管石灰化進行因子の意義 血液透析患者における蛋白摂取量による血清Alb濃度と生命予後についての検討
井上 朋子	医師	演者	web	高齢化社会における腹膜透析の普及 シンプルPD
村上 真也	薬剤師	演者	web	HD患者におけるネスプAGへ切替後の治療効果と医療経済学的効果
祖地 香織	看護師	演者	web	血液透析患者のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)実践に向けた患者支援の在り方
高橋 淳子	看護師	演者	web	血液透析患者の口腔機能評価 右内頸動脈閉塞発症後他職種連携により経口摂取が可能となった1症例
武市 麻希	看護師	演者	web	血液透析患者と透析室スタッフの日常管理項目の意識調査
多田 浩章	臨床検査技師	司会	横浜	シンポジウム5 透析領域における超音波検査 Up to date 2021
吉川由佳里	臨床検査技師	演者	web	透析室スタッフが習得必要なシャントエコー技術
宮繁歩那実	臨床検査技師	演者	web	血液透析患者におけるQT延長症候群の要因に関する検討
道脇 宏行	臨床工学技士	座長、演者	web	《座長》 一般演題ポスター(座長あり) バスキュラーアクセス-6 《演者》 オンラインHDFの有用性 ~アルブミン除去の面から~ 特定臨床研究の取り組み
廣瀬 大輔	臨床工学技士	座長、演者	web	《座長》 一般演題ポスター(座長あり) CKD-MBD-1 《演者》 希釈法の違いによるOn-line HDFの予後比較
西内 陽子	臨床工学技士	演者	web	DLST陽性で透析液使用を避けられない2症例での透析条件検討
鳩成 亮介	臨床工学技士	演者	web	透析患者における血清亜鉛濃度の動態と亜鉛含有製剤による治療効果
木村 浩徳	管理栄養士	演者	web	高齢透析患者の骨格筋量に影響を与える要因について
登井 麻絵	作業療法士	演者	web	左視床出血による右上肢の麻痺に対して、B-SESによる神経筋促通を試みた一例
秦 麻友	理学療法士	演者	web	血液透析患者における下肢荷重率移動動作の自立度の関連性



看護師 武市 麻希



看護師 高橋 淳子



6階病棟看護師長 祖地 香織

「これまで臨床ではステージ0からIVまでの様々な消化器癌の診断や治療、研究では血液1滴からがんの超早期発見を目指した新たなバイオマーカー開発を中心に励んでまいりました。これまでの経験を川島会の患者さんに活かし、一人でも多くの方のお役に立てればと思っております。」

消化器内科について教えてください

「食べる楽しみは生きる喜び」とも言われ、我々が生きる上で食事はとても大切なものです。消化器は、食物を摂取、消化、吸収、排泄する器官で、具体的には胃や腸などの消化管、胆道や膵臓を合わせた胆膵、肝臓の大きく3つの分野に分けられます。消化器内科で扱う疾患は多種多様で良性疾患から悪性疾患まで幅広く、特に我が国の死因第1位である癌の中でも消化器癌は癌死亡の過半数を占めており、我々の健康に大きな影響を及ぼしています。しかし、消化器癌は適切な検査(内視鏡検査や腹部エコー検査)さえしていれば早期発見・治療によりほとんどの方が助かります。当科では一般には早期発見が難しい胆膵癌をはじめ、消化管・胆膵・肝臓全ての分野で高精度の検査体制を整えております。ひとりでも多くの方に、健康と安心を手に入れて頂きたいと願っております。

診療内容について教えてください

消化器内科外来:「おなか」何でも相談室

色々な消化器症状に何でも対応致します。食欲がない、胃もたれ、胸やけ、おなかの張り、下痢、便秘、ちょっとした不調、お困りのことがございましたら何なりとお気軽にご相談下さい。

最先端のがん検診:正確、優しい 胃・膵臓・大腸内視鏡検査

- 鎮静剤(静脈麻酔)で寝ている間に検査が
終わる無痛内視鏡検査
当科では可能な限り検査の苦痛を減らす様々な工夫を凝らしております。
- 胃・膵臓を同時に検診できる2刀流スコープを
県内初導入
胃カメラのついでにボタン1つで膵臓・胆嚢・胆管までを同時に検診できる画期的な超音波内視鏡検査。従来の内視鏡より細く、鎮静剤を使用することで楽に検診ができます。当院では徳島県胃がん検診のオプションとしても追加できます。
- 消化器まるごとがん検診プラス+
癌死亡の約半数を占める消化器癌検診を一度に済ませたい方には、眠っている間に食道・胃・十二指腸・膵臓・胆嚢・胆管・大腸の内視鏡検査+



Jinsei MIYOSHI

ドクター紹介 #3
三好 人正 先生

経歴		
平成20年	3月	徳島大学医学部卒業
平成20年	4月	徳島県立中央病院 研修医
平成22年	4月	徳島大学病院 消化器内科 医員
平成24年	4月	公立学校共済組合四国中央病院 内科
平成25年	12月	国立がん研究センター東病院 消化管内科
平成26年	4月	徳島県立三好病院 消化器内科
平成27年	5月	Baylor University Medical Center at Dallas
平成29年	8月	徳島大学院歯学部歯学部消化器内科学 助教授 病棟医長(平成30年) 外来医長(平成31年)
令和2年	4月	和歌山県立医科大学 消化器内科 学内助教
令和3年	1月	社会医療法人川島会 川島病院 消化器内科医長



大腸ポリープ治療までを30-60分程度の検査時間でいっぺんにすることが可能です。腹部エコー検査を組み合わせればほぼ全ての消化器癌をカバーできます。

● 飲むだけカプセル内視鏡
どうしても内視鏡検査に抵抗のある方には飲むだけの小腸・大腸カプセル内視鏡検査が可能です。これまで胃カメラ・大腸カメラで届かない未知の領域であった小腸まですべて見ることが出来ます。

● 膵癌早期発見プロジェクト
～膵臓癌から命を守るために～
膵臓癌は年々増加する難治癌の代表ですが、1cm以下で発見されれば約8割の方が治ります。当科では将来、膵癌になりやすい方(糖尿病、肥満、喫煙、大量飲酒、膵癌の家族歴、慢性膵炎、膵のう胞などをお持ちの方)にリスクに応じた検査をご提案し、高精度の検査で早期発見を目指します。

川島会での抱負をお願いします!

当院の消化器内科はまだまだ始まったばかりですが、消化器チーム一丸となって安全・安心・満足していただける医療を提供していきたいと思っております。今後でもできることを段々と増やしていきたいと思っております。消化器チームも拡大中です。皆さんの参加も大歓迎しております。

趣味や休日の過ごし方など教えてください

最近、新居を購入し、部屋のインテリアコーディネートやガーデニングに夢中です。3人のやんちゃな息子達と好きなものに囲まれた新生活でうち時間を楽しんでいます。



The 66th Annual Meeting of
the Japanese Society for
Dialysis Therapy

教育講演ならびに一般演題で発表のため、WEBで参加させていただきました。教育講演では、近年の血液浄化療法において急激な増加を認めているオンラインHDFについて、アルブミンを中心とした溶質除去の面から患者さん一人ひとりに応じた適正な条件設定を考察し、発表しました。一般演題では、特定臨床研究が医療技術の進歩や適正な医療を提供するために必要であることを報告しました。新型コロナウイルスへの対応に追われながらも、各地から透析医療の発展につながる多くの発表がありました。WEBでの参加にはなりましたが、多くを学び、考えさせられる学会になりました。



臨床工学部長
道脇 宏行

今回はポスターにて、「希釈法の違いによるOnline EDFの予後比較」の発表をさせていただきました。COVID-19の影響で現地には行かず、WEBでの講演視聴とさせていただきます。α-1MGの除去によるフィルタの選択や効果などの発表を視聴し、改めてオンラインHDFの選択基準や患者の愁訴に対する学びを得ました。今後日々の臨床に活かしていきたいと思っております。



臨床工学技士 主任
廣瀬 大輔

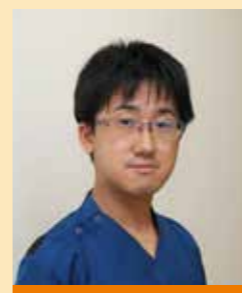
今回オンラインで初めて参加し、「脳出血後の症例への骨格筋電気刺激療法」についてポスター発表させていただきました。発表までの期間を振り返って、日常業務においてもOODAループを意識し、エビデンスに基いたリハビリテーションを提供することの重要性を感じました。今回の経験を通して、透析医療への理解を深めることができ、今後のリハビリテーションに活かしたいと考えます。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



作業療法士
登井 麻絵



臨床検査技師 宮繁歩那実



臨床工学技士 嶋成 亮介



管理栄養士 木村 浩徳

今回の研究は私にとって初めての研究活動であり、研究に至るまで、研究計画書の作成からスライド作成まで、指導医の先生、リハビリスタッフや様々な方に手取り足取りご教授して頂き発表まで漕ぎつけました。コロナでなければ、現地で口演発表を行い質疑応答を受けて沢山のことを学びたかったです。新病院での業務が落ち着いたら、リハビリを処方されていない、通院HD患者の下肢荷重率と移動動作の自立度の関連性を評価し研究活動を行っていきたくと考えています。



理学療法士
秦 麻友

川島ホスピタルグループ

2020～2021年 資料編

- プロフィール
- 医師・職員取得資格
- 医師・職員院外団体等役職
- 職員数
- 座長、司会等
- 診療統計等



ドクター紹介 # 4

吉岡 伸治 先生

経歴

平成15年	3月	自治医科大学卒業
平成15年	4月	徳島大学 整形外科
平成15年	10月	徳島県立中央病院
平成17年	4月	徳島県立三好病院 整形外科
平成19年	4月	徳島県立中央病院
平成21年	4月	徳島大学 整形外科
平成21年	6月	米国アイオワ大学 整形外科
平成22年	4月	西祖谷山村診療所 所長
平成24年	4月	徳島県鳴門病院 整形外科 医長
平成27年	4月	徳島市民病院 整形外科 主任医長
令和2年	4月	高松市立みんなの病院 整形外科
令和3年	4月	社会医療法人川島会 川島病院 整形外科医長



Shinji YOSHIOKA



整形外科について教えてください

整形外科は身体の芯になる骨・関節と周りの筋肉、それらを支配する神経からなる「運動器」の機能を治療する外科です。一口に整形外科といっても整形外科の診療は幅広く、細かく専門分化が進んでおり、下肢の「股関節外科」、「膝関節外科」と「足の外科」、上肢を扱う「手の外科」と「肩関節外科」、背骨と脊髄を扱う「脊椎外科」、スポーツによるけがや障害を扱う「スポーツ医学」、腫瘍を扱う「骨・軟部腫瘍外科」、骨粗鬆症などを扱う「骨代謝外来」、小児の疾患を扱う「小児整形外科」、骨折など外傷を扱う「外傷整形外科」と多数の専門分野があります。私はその中でも「股関節外科」、「膝関節外科」、特に手術を専門としております。

診療内容について教えてください

私は人工関節学会認定医であり、股関節・膝関節の人工関節置換手術に力を入れています。また、人工関節置換手術以外にも、高位脛骨骨切り術、膝関節鏡手術などの関節温存手術も行っています。特に人工股関節全置換術では筋肉を切らない最小侵襲手術である仰臥位前外側アプローチで手術を行っています。手術手技は難しいですが、ほとんどの症例で筋肉を完全に温存することが可能です。従来の後方アプローチより術後の筋力の回復が早く、脱臼も少なくできます。さらに人工股関節全置換術、人工膝関節全置換術ではコンピューターナビゲーションシステムを全ての症例で用いており、非常に精密な手術が可能になっています。股関節・膝関節以外の疾患の方で手術が必要な方は、徳島県内の各専門分野の整形外科医師と連携しており、速やかに紹介させて頂いております。

川島会での抱負をお願いします！

股関節、膝関節の手術を得意としておりますので、手術を希望される患者様に速く、正確で合併症の少ない手術治療を提供させて頂きたいと思っております。新病院では最新の手術室、手術機材も準備して頂いておりますので、完璧な手術を目指します。

趣味や休日の過ごし方など

教えてください

趣味は国際学会で発表したり、学会以外でも海外旅行に行くことですが、新型コロナの影響で全くできていません。また近いうちに海外に行ける日が来ることを願っています。

鴨島川島クリニックのプロフィール(2021年10月1日現在)

■ 標榜科目

腎臓内科、血液透析内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、特定健診

■ 届出事項

腎代替療法指導管理料、がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料



鳴門川島クリニックのプロフィール(2021年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、人工透析内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定

■ 届出事項

がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料



脇町川島クリニックのプロフィール(2021年10月1日現在)

■ 標榜科目

人工透析内科、糖尿病内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定

■ 届出事項

在宅血液透析指導管理料、がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料



阿南川島クリニックのプロフィール(2021年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、血液透析内科、腎臓内科

■ 指定

保険医療機関、自立支援医療機関(更生医療指定)、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、特定健診

■ 届出事項

透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料



藍住川島クリニックのプロフィール(2021年10月1日現在)

■ 標榜科目

血液透析内科、内科、循環器内科、糖尿病内科、泌尿器科、腎臓内科、外科、消化器科、胃腸科、肛門科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定

■ 届出事項

人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算1、CT撮影、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、がん治療連携指導料、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料



川島病院のプロフィール(2021年10月1日現在)

■ 標榜科目

内科、腎臓内科(人工透析・腎移植)、泌尿器科(人工透析・腎移植)、循環器内科、循環器外科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、放射線科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、血管外科、脳神経外科、皮膚科、血液内科、整形外科

■ 指定

保険医療機関、救急告示、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、DPC対象、介護保険法、特定健診/特定保健指導

■ 届出事項

初診料(歯科)の注1に掲げる基準、歯科外来診療環境体制加算1、急性期一般入院基本料4、救急医療管理加算、診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算1 区分20:1、急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割以上)夜間急性期看護補助体制加算30対1、夜間看護体制加算、療養環境加算、無菌治療室管理加算2、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算 区分2、医療安全対策地域連携加算2、感染防止対策加算2、病棟薬剤業務実施加算1、データ提出加算2/データ評価加算、入退院支援加算2、認知症ケア加算(加算3)、せん妄ハイリスク患者ケア加算、入院時食事療養/生活療養(1)、糖尿病合併症管理料、移植後患者指導管理料(臓器移植後)、糖尿病透析予防指導管理料、腎代替療法指導管理料、夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算、ニコチン依存症管理料、がん治療連携指導料、薬剤管理指導料、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料、医療機器安全管理料1、歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料、在宅血液透析指導管理料、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算、持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定、持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)、抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)、遺伝学的検査、有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査、検体検査管理加算(I)、検体検査管理加算(II)、時間内歩行試験、ヘッドアップティルト試験、画像診断管理加算2、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算、心臓MRI撮影加算、無菌製剤処理料、心大血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(II)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、歯科口腔リハビリテーション料2、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術)、CAD/CAM冠、経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)、大動脈バルーンパンピング(IABP法)、体外衝撃波胆石破砕術、体外衝撃波腎尿管結石破砕術、同種死体腎移植術、生体腎移植術、輸血管理料II、輸血適正使用加算、麻酔管理料(I)、クラウン・ブリッジ維持管理料

■ 施設認定

日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本腹膜透析医学会教育研修医療機関、日本アフェレンス学会認定施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設

■ その他

地域連携室



川島透析クリニックのプロフィール(2021年10月1日現在)

■ 標榜科目

血液透析内科

■ 指定

保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定

■ 届出事項

がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料



日本脳神経外科学会専門医	本藤 秀樹					
日本脳卒中学会専門医	本藤 秀樹					
日本医師会認定産業医	長瀬 教夫 清重 浩一	小原 卓爾 吉岡 伸治	小松 まち子	曾根 佳世子	宮 恵子	篠原 正幸
日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士	小松 まち子					
日本人間ドック学会人間ドック認定医	小松 まち子					
日本臨床検査医学会専門医	野間 喜彦					
日本医学放射線学会放射線診断専門医	日下 まき	城野 良三				
日本核医学会PET核医学認定医	城野 良三					
日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医	城野 良三					
日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医	小松 まち子	宮 恵子				
日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	宮 恵子					
日本医師会認定健康スポーツ医	小松 まち子					
日本甲状腺学会専門医	宮 恵子					
日本消化器病学会認定消化器病専門医	曾根 佳世子	宮 恵子	三好 人正			
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	清重 浩一	三好 人正				
日本消化器外科学会指導医	岩坂 尚仁					
日本消化器外科学会認定医	岩坂 尚仁					
日本消化管学会胃腸科認定医	島 久登					
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医	横田 綾					
日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医	島 久登					
日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医制度研修指導医	島 久登					
日本アフレシス学会認定血漿交換療法専門医	島 久登					
日本抗加齢医学会専門医	田代 学					
日本呼吸器学会専門医	坂東 弘康					
日本呼吸器学会指導医	坂東 弘康					
日本呼吸器内視鏡学会専門医	坂東 弘康					
日本呼吸器内視鏡学会指導医	坂東 弘康					
日本アレルギー学会専門医	坂東 弘康					
日本アレルギー学会指導医	坂東 弘康					
日本禁煙学会専門医	坂東 弘康					
日本化学療法学会指導医	坂東 弘康					
日本化学療法学会抗菌化学療法認定医	島 久登					
日本感染症学会専門医	坂東 弘康					
日本感染症学会指導医	坂東 弘康					
日本プライマリ・ケア連合学会暫定	坂東 弘康	篠原 正幸				
インфекションコントロールドクター (ICD)	橋詰 俊二	坂東 弘康	篠原 正幸			

日本内科学会認定内科医	川島 周 小原 卓爾 高森 信行 篠原 正幸	水口 潤 土井 俊夫 宮 恵子 清重 浩一	西内 健 木村 建彦 橋詰 俊二 井上 朋子	岡田 一義 小松 まち子 東 博之 田代 学	宮本 弘 野間 喜彦 岩瀬 俊 島 久登	長瀬 教夫 曾根 佳世子 坂東 弘康 三好 人正
日本内科学会総合内科専門医	岡田 一義 篠原 正幸	長瀬 教夫 清重 浩一	木村 建彦 飛梅 威	宮 恵子 井上 朋子	橋詰 俊二 田代 学	東 博之 島 久登
日本透析医学会透析専門医	川島 周 井上 朋子	水口 潤 田代 学	岡田 一義 島 久登	川原 和彦	横田 成司	西谷 真明
日本透析医学会指導医	水口 潤	岡田 一義	川原 和彦	島 久登		
日本腎臓学会腎臓専門医	水口 潤	岡田 一義	川原 和彦	井上 朋子	田代 学	島 久登
日本腎臓学会認定指導医	水口 潤	岡田 一義	川原 和彦	島 久登		
日本臨床腎移植学会腎移植認定医	水口 潤					
日本移植学会移植認定医	水口 潤					
日本透析アクセス医学会 VA血管内治療認定医	田代 学					
日本腹膜透析医学会認定医	井上 朋子	島 久登				
日本血液学会認定血液専門医	篠原 正幸					
日本血液学会指導医	篠原 正幸					
日本糖尿病学会研修指導医	小松 まち子	野間 喜彦	宮 恵子			
日本糖尿病学会専門医	長瀬 教夫	小松 まち子	野間 喜彦	宮 恵子		
日本小児科学会専門医	川原 和彦					
日本泌尿器科学会泌尿器科指導医	横田 成司	西谷 真明				
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医	横田 成司	西谷 真明				
日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	横田 成司					
日本がん治療認定医機構がん治療認定医	横田 成司					
日本外科学会外科専門医	岩坂 尚仁	割石 精一郎				
日本外科学会指導医	割石 精一郎					
日本高血圧学会指導医	西内 健	島 久登				
日本高血圧学会専門医	西内 健	島 久登				
日本循環器学会認定循環器専門医	西内 健 清重 浩一	長瀬 教夫 飛梅 威	木村 建彦	高森 信行	橋詰 俊二	岩瀬 俊
日本心血管インターベンション治療学会認定医	木村 建彦					
日本心血管インターベンション治療学会専門医	高森 信行					
日本心血管インターベンション治療学会施設代表医	高森 信行					
日本心臓リハビリテーション学会認定 心臓リハビリテーション指導士	高森 信行					
ゴア®バイアバーン®ステントグラフト実施医	高森 信行					
心臓血管外科専門医	割石 精一郎					
心臓血管外科修練指導者	割石 精一郎					
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の 実施基準による指導医	割石 精一郎					
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医	飛梅 威					

日本腹膜透析医学会指導看護師	平野 春美 戸田 己記 酒井 紘子 山田 美佳 吉原 千代美	数藤 ゆかり 加藤 美佳 宮下 めぐみ 佐々木 美和	笹田 真紀 有木 直美 榎納 幸子 川人 克美	西分 延代 小倉 加代子 森 和代 仲須 智未	岡本 真紀 佐藤 裕子 木内 雄子 武市 麻希	吉見 俊司 日根 千鶴 井上 愛 加瀬 郁子
徳島県糖尿病療養指導士	杉野 有里子 細谷 陽子 若山 憲市 北洲 梓 近藤 郁 藤川 みゆき 白井 美江 佐々木 美和 中飯 美代 富士谷 幸恵	空野 一葉 露口 達也 秦 麻友 吉見 俊司 日根 千鶴 山田 真由美 河野 久美子 前田 薫子 真鍋 佳那子	桑村 亜矢子 小賀野 和宏 西本 篤史 加藤 美佳 酒井 紘子 木内 雄子 勝浦 宏美 松尾 久代 小笠 文子	木村 浩徳 玉谷 高広 登井 麻絵 亀川 佐江 奥谷 晴美 尾方 恵美 元木 寿依 武市 麻希 上岡 理枝子	多田 浩章 友成 美貴 三宅 輝美 石野 聡子 榎納 幸子 井上 愛 藤本 花恵 加瀬 郁子 長江 菜緒	中岡 加奈子 宮本 智彦 高石 和子 三好 友美 森 和代 川人 克美 美崎 緑 高島 睦美 井幡 理恵
腎臓病療養指導士	杉野 有里子 元木 寿依	村上 真也	原 恵子	西谷 千代子	数藤 康代	戸田 己記
慢性腎臓病療養指導看護師	三宅 直美	数藤 康代	小川 昌平	吉原 千代美		
日本看護師協会認定看護師(感染管理)	楮山 祐子					
レシピエント移植コーディネーター	秋山 和美	西川 雅美				
認定看護管理者教育セカンドレベル	平野 春美					
インターベンション エキスパートナース	松田 幸子					
日本転倒予防学会認定転倒予防指導士	池尻 真理子					
日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士	戸田 己記					
日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士	大石 晃久	西本 篤史	仲尾 和恵	三好 友美		
日本理学療法士協会認定指定管理者(上級)	大石 晃久	玉谷 高広	山本 晃平			
日本理学療法士協会認定地域包括ケア推進リーダー	大石 晃久	玉谷 高広	西本 篤史	山本 晃平	秦 麻友	高田 杏
日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー	大石 晃久	玉谷 高広	西本 篤史	山本 晃平	高田 杏	
日本理学療法士協会 認定理学療法士(代謝)	玉谷 高広	山本 晃平				
日本理学療法士協会 認定理学療法士(循環)	玉谷 高広					
日本作業療法士協会認定介護予防推進リーダー	登井 麻絵	三宅 輝美				
嚙下トレーナー 歯科衛生士	高石 和子	薦田 茜	藤倉 みき			
認定歯科衛生士 (認定分野A:摂食嚙下リハビリテーション)	高石 和子					
認定歯科衛生士 (認定分野A:糖尿病予防指導)	高石 和子					
第一種歯科感染管理者	藤倉 みき					
社会福祉士	田中 リエ	三橋 浩美	落合 香織	薦田 茜	藤倉 みき	山口 絵里
診療情報管理士	宮島 彰子	原 雅子	辰己 奈月	竹森 洋介		
医師事務作業補助者	秋田 悦代 細田 真帆子 林 靖子	香川 泰子 井上 有貴子 藏本 美園	森本 麻友美 島田 菜央	近藤 由紀子 橘 迪子	藤澤 真弓 横田 浩子	藤田 豊子 福本 美穂
医療情報技師	藤田 諭	奥尾 康晴	末包 博人	高井 紀丞		
施設基準管理士	末包 博人	前坂 里美				

日本麻酔科学会指導医	西出 俊二郎					
日本麻酔科学会専門医	西出 俊二郎					
麻酔標榜医	深田 義夫					
日本超音波医学会認定超音波専門医	清重 浩一					
日本救急医学会救急科専門医	清重 浩一					
日本集中治療医学会専門医	割石 精一郎					
日本整形外科学会専門医	吉岡 伸治					
日本人工関節学会認定医	吉岡 伸治					
日本外傷診療研究機構JATECインストラクター	吉岡 伸治					
臨床研修指導医	岡田 一義 宮 恵子 島 久登	本藤 秀樹 坂東 弘康 三好 人正	川原 和彦 篠原 正幸	長瀬 教夫 岩坂 尚仁	木村 建彦 割石 精一郎	高森 信行 西出 俊二郎
医療安全管理者	志内 敏郎 常陸 真由美	飛田 知子	萩原 雄一	長野 圭吾	藤田 都慕	北洲 梓
第一種衛生管理者	志内 敏郎	空野 一葉				
認定実務実習指導薬剤師	志内 敏郎					
腎臓病薬物療法専門薬剤師	志内 敏郎					
日病薬病院薬学認定薬剤師	志内 敏郎	杉野 有里子	村上 真也	楠籾 梨恵	阿部 誠美	宮岡 恵奈
二級臨床検査士	高松 典通					
二級臨床検査士(血液学)	徳永 尚樹					
超音波検査士(循環器・血管)	多田 浩章					
超音波検査士(循環器)	吉川 由佳里	中岡 加奈子				
超音波検査士(消化器)	山田 真由美	正木 千晶				
緊急臨床検査士	正木 千晶	徳永 尚樹	酒巻 里菜			
徳島県肝炎医療コーディネーター	正木 千晶					
第一種放射線取扱主任者	谷 恵理奈					
X線CT認定技師	佐木山 薫					
静脈経腸栄養TNT-D認定管理栄養士	大西 嘉奈子					
日本静脈経腸栄養学会認定 栄養サポートチーム専門療法士	藤原 絵理					
透析技術認定士	道脇 宏行 田中 悠作 英 理香 野口 隼一	細谷 陽子 西内 陽子 来島 政広 那佐出 朋代	廣瀬 大輔 播 一夫 鎌田 優 藤原 健司	中野 正史 数藤 敬一 岡田 大佑 吉原 千代美	東根 直樹 清水 一郎 相坂 佳彦	森 浩章 成瀬 裕深 八幡 優季
3学会合同呼吸療法認定士	田中 悠作 戸田 己記	英 理香 森浦 弥生	鎌田 優	岡田 大佑	相坂 佳彦	三宅 輝美
日本心血管インターベンション治療学会 心血管インターベンション技師	東根 直樹	相坂 佳彦	八幡 優季			
日本糖尿病療養指導士	原 恵子 戸田 己記	森 恭子 小倉 加代子	松浦 香織 佐藤 裕子	玉谷 高広 福壽 悦子	山本 晃平 小谷 明子	大下 千鶴

赤澤 正義	日本核医学技術学会中四国地方会世話人、徳島核医学研究会世話人
大石 晃久	日本心臓リハビリテーション学会評議員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部幹事・評議員、徳島県心臓リハビリテーション研究会世話役
玉谷 高広	日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員、四国理学療法士学会 査読委員、徳島県理学療法士会 健康増進部員、東部LCDEの会 徳島市支部 世話人
田尾 知浩	一般社団法人徳島県臨床工学技士会監事 徳島透析療法カンファレンス幹事
道脇 宏行	一般社団法人日本血液浄化技術学会学術委員、一般社団法人日本血液浄化技術学会倫理委員
竹内 教貴	一版社団法人徳島県臨床工学技士会理事、公益社団法人日本臨床工学技士会徳島県地区代議員
大下 千鶴	徳島県立総合看護学校第一看護学科講師、徳島県総合看護学校准看護学科講師、徳島糖尿病看護研究会幹事、徳島県看護協会AWAナースサポートセンター事業運営委員
平野 春美	徳島腎と栄養研究会幹事
三宅 直美	徳島腎不全看護研究会幹事
西分 延代	徳島県立総合看護学校准看護学科講師、徳島県看護協会教育委員
笹田 真紀	徳島県看護協会ナースバンクプロジェクト委員、徳島県立総合看護学校准看護学科講師
数藤 康代	徳島腎不全看護研究会幹事・事務局、日本腎不全看護学会慢性腎臓病療養指導看護師徳島県代表、一般社団法人日本サイコネフロロジー学会広報委員
佐藤 裕子	徳島CDEJ会世話人
楮山 祐子	徳島CDEJ会世話人
奥尾 康晴	一般社団法人阿波あいネットシステム管理委員

職員数

職員数 2021年4月1日現在 注:()内は2020年4月1日現在

■社会医療法人川島会 職員数合計／671名(628)			
●常勤医師／43名(37)	●歯科医師／1名(1)	●非常勤医師／58名(55)	
●看護師／160名(143)	●准看護師／25名(24)	●看護助手／87名(83)	●薬剤師／13名(13)
●管理栄養士／7名(7)	●臨床検査技師／14名(13)	●診療放射線技師／13名(12)	●臨床工学技士／85名(81)
●理学療法士／9名(7)	●作業療法士／2名(2)	●歯科衛生士／6名(5)	●医事課／34名(36)
●診療情報課／3名(3)	●クレーク／55名(55)	●総務課／22名(21)	●医療支援部／21名(21)
●訪問介護員／13名(9)			
■社会福祉法人飛鳥 職員数合計／38名(43)			
●施設長／1名(1)	●管理者／5名(5)	●介護支援専門職員／2名(4)	●看護師／3名(3)
●介護職員／11名(11)	●生活相談員／1名(1)	●栄養士／0名(1)	●サービス提供責任者／2名(2)
●訪問介護員／12名(14)	●医療ソーシャルワーカー／1名(1)		

川島 周	日本赤十字社理事・徳島県赤十字有功会副会長・徳島大学臨床教授・徳島写楽の会会長・徳島の彫刻文化を進める会会長
水口 潤	日本腹膜透析医学会理事長・評議員、日本ハイパフォーマンスメンブレン研究会理事長、日本HDF医学会理事、日本透析アクセス医学会副理事長、腎臓病臨床経済協議会理事、とくしま移植医療推進財団理事、腎臓病SDM推進協会幹事、日本臨床腎移植学会監事、四国透析療法研究会監事、日本臨床腎移植学会評議員、徳島大学医学部腎臓内科臨床教授、徳島透析医会会長、日本腎不全栄養研究会顧問、バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会世話人、日本腎・血液浄化AI学会監事・顧問、日本臓器移植関連協議会世話人、日本血液浄化技術学会顧問、徳島透析療法研究会顧問
西内 健	徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員、徳島県立総合看護学校准看護学科講師
岡田 一義	日本腎臓学会評議員、日本透析医学会評議員・理事、日本腹膜透析医学会評議員、認定NPO法人腎臓病早期発見推進機構理事、日本高齢者腎不全研究会代表世話人
本藤 秀樹	徳島県医師会常任理事、徳島県立中央病院顧問、徳島治験ネットワーク機構理事、徳島県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員、徳島県後発医薬品適正使用協議会委員会、阿波あいネット理事、四国地方社会保険医療協議会委員、徳島県地域医療協議会委員
長瀬 教夫	独立行政法人国立病院機構東徳島医療センター名誉院長、日本循環器学会四国支部評議員、徳島文理大学非常勤講師
小松 まち子	徳島市医師会糖尿病対策委員会委員
野間 喜彦	日本糖尿病学会学術評議員、徳島県医師会生活習慣病予防対策委員会糖尿病対策班班長、糖尿病対策推進会議地域委員(日本医師会、日本糖尿病学会)、徳島県糖尿病協会理事、プラス1000歩県民運動促進会会長、徳島CDEJ会顧問医師、徳島NST研究会幹事、徳島大学医学部臨床教授、徳島県保険者協議会顧問
宮 恵子	徳島市医師会女性医師プロジェクト委員
坂東 弘康	徳島県立海部病院名誉院長、徳島大学医学部臨床教授、日本禁煙学会評議員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会徳島県支部長、徳島県医師会地域医療支援委員会、徳島県医師会感染対策協議会
井上 朋子	日本腹膜透析医学会評議員、日本腎・血液浄化AI学会理事
川島 友一郎	徳島大学臨床講師、徳島県歯科医師連盟評議員、徳島県歯科医師会地域保健部常任委員、徳島市歯科医師会代議員
田代 学	日本アフェレンス学会関西地方会評議員、徳島透析療法研究会幹事
島 久登	東北大学大学院医学系研究科大学院非常勤講師、日本腎臓学会評議員、日本透析医学会統計調査委員会 統計解析小委員会委員、日本動脈硬化学会評議員、日本高血圧学会評議員、日本アフェレンス学会評議員
三好 人正	日本消化器内視鏡学会四国支部評議員
志内 敏郎	日本腎臓病薬物療法学会理事・専門薬剤師認定制度委員長・広報委員、徳島県病院薬剤師会理事、徳島腎と薬剤研究会会長、CKD・CVD薬剤研究会会長、徳島薬剤師循環器研究会世話人、YMTM合同薬剤研究会(吉野川・美馬・つるぎ・三好合同) 世話人・幹事、厚生労働科学研究補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)「国民のニーズに応える薬剤師の専門性のあり方に関する調査研究」専門薬剤師認定制度認定委員会委員長を研究協力者
村上 真也	徳島腎と薬剤研究会事務局、CKD・CVD薬剤研究会事務局
原 恵子	徳島NST研究会幹事
森 恭子	徳島腎と栄養研究会幹事
松浦 香織	徳島県医療栄養士協議会幹事
高松 典通	徳島大学医学部保健学科非常勤講師
多田 浩章	徳島県臨床検査技師会生理検査研究班班長、徳島心エコー図研究会世話人
徳永 尚樹	日本血栓止血学会標準化委員会役員、日本抗リン脂質抗体標準化ワークショップ役員、日本臨床化学会止血・血栓検査専門委員会凝固波形解析プロジェクト委員

■外来患者延数 ■歯科患者延数 ■入院患者延数 ■新入院患者延数

外来患者延数	歯科患者延数	入院患者延数	新入院患者延数
50,883名 (52,549)	9,114名 (8,486)	32,876名 (33,722)	1,864名 (1,968)

■血液透析患者数(3月31日現在)

川島病院	川島透析クリニック	鴨島川島クリニック	鳴門川島クリニック
49名 (62)	473名 (494)	140名 (142)	124名 (117)
脇町川島クリニック	阿南川島クリニック	藍住川島クリニック	在宅透析
112名 (112)	49名 (48)	78名 (66)	4名 (4)
合計			
1,029名 (1,045)			

■延べ回数

川島病院	川島透析クリニック	鴨島川島クリニック	鳴門川島クリニック
13,917回 (14,554)	71,246回 (73,524)	21,003回 (20,284)	18,087回 (18,093)
脇町川島クリニック	阿南川島クリニック	藍住川島クリニック	合計
17,063回 (16,736)	7,651回 (6,985)	10,920回 (9,361)	159,887回 (159,537)
アフエレーシス			
42回 (50)			

■透析患者数

	新規導入患者数	患者数
HD	64名 (76)	1,029名 (1,045)
PD	24名 (16)	107名 (98)

■腎移植患者数 ●患者数/73名(72) 3月31日現在

■主要処置・検査件数

消化器内視鏡	CT	冠動脈CT	シャントPTA
801件 (851)	4,599件 (4,960)	280件 (310)	570件 (478)
腎生検	心カテ/PTCA	RI	MRI
65件 (49)	167件 (233)	228件 (282)	1,714件 (1,883)
心エコー	骨密度	嚥下内視鏡	
2,798件 (3,057)	1,073件 (1,102)	5件	

水口 潤	第260回徳島医学会学術集会 エベレンツ新発売記念講演会in徳島 日本臨床腎移植学会 徳島透析療法研究会講演会 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 透析合併症Webセミナー 第26回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 徳島透析療法研究会学術講演会 第26回日本HDF医学会学術集会・総会 第65回日本透析医学会学術集会・総会 第65回日本透析医学会学術集会・総会 Parsabiv Opinion Meeting in Tokushima 第24回日本アクセス医学会学術集会・総会 第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2020 徳島県エナロイ錠発売記念講演会	ポスターセッション	座長	2020年2月2日
			座長	2020年2月6日
			司会	2020年2月21日
		特別講演	座長	2020年3月10日
		特別講演	座長	2020年7月18日
		学会ジョイントプログラム	座長	2020年9月3日
		セミナー	座長	2020年9月19日
		特別講演	座長	2020年10月1日
		セミナー	座長	2020年10月11日
		シンポジウム	座長	2020年10月11日
西内 健	抗血栓療法について考える会in徳島 心不全トータルケア講演会 心不全治療セミナー in TOKUSHIMA		座長	2020年2月14日
			座長	2020年2月20日
			座長	2020年7月8日
本藤 秀樹	第18回川島ホスピタルグループ震災対策会議 令和元年度社保指導者講習会伝達講習		座長	2020年1月31日
			座長	2020年2月21日
岡田 一義	徳島腎疾患診療セミナー 第26回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 徳島透析療法研究会学術講演会 第65回日本透析医学会学術集会・総会 Parsabiv Opinion Meeting in Tokushima	スイーツセミナー2	座長	2020年9月17日
			座長	2020年9月19日
			座長	2020年10月1日
			司会	2020年11月12日
野間 喜彦	糖尿病治療セミナー in TOKUSHIMA 徳島Diabetes Conference Diabetes Online Seminar		座長	2020年1月24日
			座長	2020年2月6日
			座長	2020年11月18日
岩瀬 俊	第84回日本循環器学会学術集会	一般演題口述(英語)	座長	2020年7月27日～8月2日
田代 学	第26回日本腹膜透析医学会学術集会・総会		座長	2020年9月19日～20日
井上 朋子	第26回日本腹膜透析医学会学術集会・総会		座長	2020年9月19日～20日
志内 敏郎	第25回徳島腎と薬剤研究会 第8回CKD・CVD薬剤研究会 第26回徳島腎と薬剤研究会 第9回CKD・CVD薬剤研究会 第65回日本透析医学会学術集会・総会 第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会		座長	2020年2月4日
			座長	2020年9月14日
		特別講演	座長	2020年10月12日
		特別講演	座長	2020年10月29日
		シンポジウム	座長	2020年11月3日
		理事長講演	座長	2020年12月14日～20日
		特別講演	座長	2020年12月14日～20日
		共済セミナー	座長	2020年12月19日
		共済セミナー	座長	2020年12月20日
道脇 宏行	中四国MEフォーラム 第26回日本HDF医学会学術集会・総会	HDFの治療戦略	座長	2020年2月15日
		HDFの臨床・溶質除去性能	座長	2020年10月10日
多田 浩章	徳島県医学検査学会	生理部門	座長	2020年12月13日
玉谷 高広	第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2020		座長	2020年12月14日～20日
西本 篤史	第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2020		座長	2020年12月14日～20日
宮本 智彦	第14回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2020		座長	2020年12月14日～20日
数藤 康代	第23回日本腎不全看護学会学術集会総会		座長	2020年11月7日～8日



編集後記

現在の生活に慣れて、もう2年が経過しようとしています。
出口は近づいてきたと思えば、また遠く霞んでしまいました。

病院で働くみなさんが、また心から笑える日が来ることを願って、
普段のいい顔を撮ってもらいました。

発行に携わってくださったすべての皆さんに感謝します。

広報委員長 川島友一郎

診療統計等 (2020年4月～2021年3月 注:()内は前年同期)

■手術・処置件数

手術総数	結石破砕	シャントPTA	ペースメーカー植え込み
1,548件(1,553)	101件(108)	570件(478)	14件(15)

■栄養指導件数 ●指導件数/3,921件(3,980)

■糖尿病教室 2020年10月22日

みんなで考えよう新型コロナウイルス対策 糖尿病患者さんの正しい感染症対策について 参加者 6名

2021年3月25日

コロナ下の食事・運動療法の注意点

参加者 3名

■リハビリ実施単位数

- 理学 25157単位(23122単位)
- 作業 5225単位(2746単位)

■ケアハウス飛鳥入居者数(延べ)

599名(588)

■デイサービス利用者数(延べ)

6,576名(6,650)

■ヘルパーステーション利用者数(延べ)

844名(887)

■在宅介護支援センター計画者数(延べ)

1,254名(1,093)

■相談支援事業

1,596件(1,423)

■治験

- 川島病院 第Ⅲ相試験 3件

■製造販売後調査

- 川島病院 1件